

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公表特許公報(A)

(11)公表番号

特表2025-507248

(P2025-507248A)

(43)公表日 令和7年3月18日(2025.3.18)

(51)国際特許分類	F I	テーマコード(参考)
H 0 4 N 21/47 (2011.01)	H 0 4 N 21/47	5 C 1 6 4
H 0 4 N 21/431 (2011.01)	H 0 4 N 21/431	5 E 5 5 5
H 0 4 N 21/258 (2011.01)	H 0 4 N 21/258	
H 0 4 L 67/50 (2022.01)	H 0 4 L 67/50	
G 0 6 F 3/0483(2013.01)	G 0 6 F 3/0483	

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全38頁)

(21)出願番号	特願2024-541006(P2024-541006)	(71)出願人	521431088
(86)(22)出願日	令和4年12月28日(2022.12.28)		北京字跳 網 絡 技 術 有 限 公 司
(85)翻訳文提出日	令和6年9月4日(2024.9.4)		Beijing Zitiao Network Technology Co., Ltd.
(86)国際出願番号	PCT/CN2022/142823		中国北京市海淀区紫金数碼園4号楼2層
(87)国際公開番号	WO2023/131026		0207
(87)国際公開日	令和5年7月13日(2023.7.13)		0207, 2/F, Building 4, Zijin Digital Park, Haidian District, Beijing, P. R. China
(31)優先権主張番号	202210010956.4	(74)代理人	110004381
(32)優先日	令和4年1月6日(2022.1.6)		弁理士法人 I T O H
(33)優先権主張国・地域又は機関	中国(CN)	(72)発明者	ジャン, ティエンティエン
(81)指定国・地域	AP(BW,CV,GH,GM,KE,LR,LS,MW,MZ,NA,RW,SD,SL,ST,SZ,TZ,UG,ZM,ZW), EA(AM,AZ,BY,KG,KZ,RU,TJ,TM), EP(AL,AT,BE,BG,CH,CY,CZ,DE,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HR,HU,IE,IS,IT,LT,LU,LV)		

最終頁に続く

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 リソース処理方法、装置、電子機器、記憶媒体及びプログラム製品

(57)【要約】

本開示は、ライブ配信視聴権限の取得方法を豊富にし、ユーザ体験を高めることができるリソース処理方法、装置、電子機器、記憶媒体及びプログラム製品に関する。この方法は、ターゲットリソースの情報及び前記ターゲットリソースの情報に対応するライブ配信スタジオの情報が表示されているターゲットリソースのリソース移転ページを表示することと、前記ターゲットリソースに対するリソース移転操作にตอบสนองして、リソース移転成功情報を表示して、ターゲットリソース受領対象が前記ターゲットリソースを受領した場合に前記ライブ配信スタジオの該当する権限を取得するために用いられる前記ターゲットリソースをシェアすることを含む。

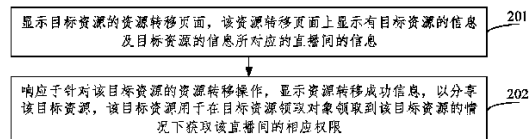


图 2

201 Display a resource transfer page for a target resource, wherein information of the target resource and information of a live streaming room corresponding to the information of the target resource are displayed on the resource transfer page
 202 In response to a resource transfer operation for the target resource, display information of successful resource transfer, so as to share the target resource, wherein the target resource is used by a target resource claiming object to gain corresponding access to the live streaming room when same has drawn the target resource

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ターゲットリソースの情報及び前記ターゲットリソースの情報に対応するライブ配信スタジオの情報が表示されているターゲットリソースのリソース移転ページを表示することと、

前記ターゲットリソースに対するリソース移転操作に応答して、リソース移転成功情報を表示して、ターゲットリソース受領対象が前記ターゲットリソースを受領した場合に前記ライブ配信スタジオの該当する権限を取得するために用いられる前記ターゲットリソースをシェアすることを含む、

リソース処理方法。

10

【請求項 2】

前記ターゲットリソースの情報は、第一のタグにより指示されるリソースタイプと第二のタグにより指示されるリソースタイプとを含み、前記リソース移転操作は、ターゲットリソースタイプを選択する操作を含み、前記ターゲットリソースタイプは、第一のタグにより指示されるリソースタイプ又は第二のタグにより指示されるリソースタイプであり、前記ターゲットリソース受領対象のタイプは、前記ターゲットリソースタイプにより指示される対象タイプである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記方法は、

第一のページに前記ターゲットリソースの受領進捗情報を表示することをさらに含み、

前記第一のページは、前記ライブ配信スタジオのライブ配信スタジオページと、前記ターゲットリソースの移転詳細ページと、前記ライブ配信スタジオのライブ配信プレビューページと、前記ターゲットリソースの受領詳細ページと、前記ターゲットリソースのシェア成功通知メッセージページとのうちのいずれか一つを含む、請求項 1 に記載の方法。

20

【請求項 4】

第二のページにターゲットリソースの受領識別子を表示することと、

前記受領識別子に対するトリガー操作に応答して、受領成功プロンプト情報を表示して、前記ターゲットリソースに基づいて前記ターゲットリソースに対応するライブ配信スタジオの該当する権限を取得することを含む、

前記第二のページは、前記ライブ配信スタジオのライブ配信スタジオページと、前記ターゲットリソースのリソース移転ページと、前記ライブ配信スタジオのライブ配信プレビューページと、前記ライブ配信スタジオをサーチするサーチページとのうちの少なくとも一つを含む、

30

リソース処理方法。

【請求項 5】

前記第二のページが前記ライブ配信スタジオページ、前記ライブ配信プレビューページ又は前記サーチページを含む場合に、前記第二のページにターゲットリソースの受領識別子を表示することは、

前記第二のページにおける前記ライブ配信スタジオの試し視聴セグメントの再生が終了した場合に、前記受領識別子を表示することを含む、請求項 4 に記載の方法。

40

【請求項 6】

前記第二のページにおける前記ライブ配信スタジオの試し視聴セグメントの再生が終了した場合に、前記受領識別子を表示することは、

前記第二のページにおける前記ライブ配信スタジオの試し視聴セグメントの再生が終了し、且つターゲットリソース受領対象が受領条件を満たす場合に、前記受領識別子を表示することを含む、

前記受領条件は、

前記ターゲットリソース受領対象が前記ライブ配信スタジオの該当する権限を取得していないことと、現在時刻が前記ターゲットリソースの受領期限内であることと、前記ターゲットリソースの残量が 0 よりも大きいこととのうちの少なくとも一つを含む、請求項 4

50

に記載の方法。

【請求項 7】

ターゲットリソース受領対象により送信されるターゲットリソース受領命令を受信することと、

前記ターゲットリソース受領命令に基づいて、前記ターゲットリソース受領対象にターゲットリソースを割り当て、前記ターゲットリソース受領対象に前記ターゲットリソースに基づいて前記ターゲットリソースに対応するライブ配信スタジオの該当する権限を取得させることとを含む、

リソース処理方法。

【請求項 8】

前記ターゲットリソース受領命令に基づいて、前記ターゲットリソース受領対象にターゲットリソースを割り当てることは、

前記ターゲットリソース受領命令に基づいて、受領条件を満たす場合に、前記ターゲットリソース受領対象にターゲットリソースを割り当てることとを含み、

前記受領条件は、

前記ターゲットリソース受領対象が前記ライブ配信スタジオの該当する権限を取得していないことと、現在時刻が前記ターゲットリソースの受領期限内であることと、前記ターゲットリソースの残量が 0 よりも大きいこととのうちの少なくとも一つを含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記ターゲットリソース受領命令に基づいて、前記ターゲットリソース受領対象にターゲットリソースを割り当てた後に、前記方法は、

第一の周波数制御条件を満たす場合に、ターゲットリソースシェア対象にターゲットリソースシェア成功通知メッセージを送信することをさらに含み、

前記ターゲットリソースシェア対象は、前記ターゲットリソース受領対象が前記ターゲットリソースを受領するために前記ターゲットリソースをシェアする対象であり、

前記第一の周波数制御条件は、

現在時刻から前記ターゲットリソースシェア対象にターゲットリソースシェア成功通知メッセージを最後に送信した時刻までの時間長が第一の時間長閾値以上であることと、

前記ターゲットリソースシェア対象にターゲットリソースシェア成功通知メッセージを送信した当日累計回数が第一の回数閾値よりも小さいことと、

前記ターゲットリソースシェア成功通知メッセージが、現在時刻までにターゲットリソースシェア成功通知メッセージを送信していないすべてのターゲットリソース受領成功情報を含むこととのうちの少なくとも一つを含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

前記方法は、

前記ターゲットリソース受領対象により送信されるターゲットリソース返却命令を受信することと、

前記ターゲットリソース返却命令に基づいて、返却条件を満たす場合に、前記ターゲットリソース受領対象に割り当てられるターゲットリソースを撤回することとをさらに含み

前記返却条件は、

前記ターゲットリソース受領対象が前記ターゲットリソースを介して前記ライブ配信スタジオの該当する権限を使用していないことと、現在時刻が前記ターゲットリソースの受領期限内であることとのうちの少なくとも一つを含む、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記ターゲットリソース返却命令に基づいて、返却条件を満たす場合に、前記ターゲットリソース受領対象に割り当てられるターゲットリソースを撤回した後に、前記方法は、

第二の周波数制御条件を満たす場合に、前記ターゲットリソースシェア対象にターゲットリソース返却成功通知メッセージを送信することをさらに含み、

10

20

30

40

50

前記第二の周波数制御条件は、

現在時刻から前記ターゲットリソースシェア対象にターゲットリソース返却成功通知メッセージを最後に送信した時刻までの時間長が第二の時間長閾値以上であることと、

前記ターゲットリソースシェア対象にターゲットリソース返却成功通知メッセージを送信した当日累計回数が第二の回数閾値よりも小さいことと、

前記ターゲットリソース返却成功通知メッセージが、現在時刻までにターゲットリソース返却成功通知メッセージを送信していないすべてのターゲットリソース返却情報を含むこととのうちの少なくとも一つを含む、請求項10に記載の方法。

【請求項12】

ターゲットリソースの情報及び前記ターゲットリソースの情報に対応するライブ配信スタジオの情報が表示されているターゲットリソースのリソース移転ページを表示し、

前記ターゲットリソースに対するリソース移転操作に応答して、リソース移転成功情報を表示して、ターゲットリソース受領対象が前記ターゲットリソースを受領した場合に前記ライブ配信スタジオの該当する権限を取得するために用いられる前記ターゲットリソースをシェアするように構成されるリソース処理方法表示モジュールを含む、

リソース処理装置。

【請求項13】

第二のページにターゲットリソースの受領識別子を表示し、前記受領識別子に対するトリガー操作に応答して、受領成功プロンプト情報を表示して、前記ターゲットリソースに基づいて前記ターゲットリソースに対応するライブ配信スタジオの該当する権限を取得するように構成される表示モジュールを含み、

前記第二のページは、前記ライブ配信スタジオのライブ配信スタジオページと、前記ターゲットリソースのリソース移転ページと、前記ライブ配信スタジオのライブ配信プレビューページと、前記ライブ配信スタジオをサーチするサーチページとのうちの少なくとも一つを含む、

リソース処理装置。

【請求項14】

ターゲットリソース受領対象により送信されるターゲットリソース受領命令を受信するように構成される受信モジュールと、

前記受信モジュールが受信した前記ターゲットリソース受領命令に基づいて、前記ターゲットリソース受領対象にターゲットリソースを割り当てて、前記ターゲットリソース受領対象に前記ターゲットリソースに基づいて前記ターゲットリソースに対応するライブ配信スタジオの該当する権限を取得させるように構成される割り当てモジュールとを含む、

リソース処理装置。

【請求項15】

電子機器であって、メモリとプロセッサとを含み、メモリは、コンピュータプログラムを記憶するために用いられ、プロセッサは、コンピュータプログラムを呼び出す時に請求項1から11のいずれか1項に記載のリソース処理方法を実行するために用いられる、電子機器。

【請求項16】

コンピュータ可読記憶媒体であって、コンピュータプログラムが記憶されており、コンピュータプログラムがプロセッサにより実行される時、請求項1から11のいずれか1項に記載のリソース処理方法を実現する、コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項17】

コンピュータプログラム製品であって、前記コンピュータプログラム製品には、コンピュータプログラムが記憶されており、前記コンピュータプログラムがプロセッサにより実行される時、請求項1から11のいずれか1項に記載のリソース処理方法を実現する、コンピュータプログラム製品。

【請求項18】

コンピュータプログラムであって、前記コンピュータプログラムがプロセッサにより実

10

20

30

40

50

行される時、請求項 1 から 11 のいずれか 1 項に記載のリソース処理方法を実現する、コンピュータプログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

[関連出願の相互参照]

本出願は、中国出願番号が 202210010956.4 であり、出願日が 2022 年 1 月 6 日である出願に基づいて、その優先権を主張しており、この中国出願の開示内容は、ここで全体として本出願に取り込まれる。

【0002】

本開示は、ライブ配信技術分野に関し、特にリソース処理方法、装置、電子機器、記憶媒体及びプログラム製品に関する。

【背景技術】

【0003】

インターネットの波の下で、ハードウェアとソフトウェア技術の絶えない発展と進化は、スマート機器とソフトウェアの登場を促進した。これと同時に、ライブ配信サービスの成熟化が絶えず進み、異なるアプリケーションプラットフォームに組み込むことが可能となり、ユーザは、ネットワークライブ配信を通じて、ニュース、スポーツイベント、ショッピングのおすすめなどの番組をオンラインで視聴することができる。

【発明の概要】

【0004】

本開示は、リソース処理方法、装置、電子機器、記憶媒体及びプログラム製品を提供する。

【0005】

本開示の実施例の第一の態様は、リソース処理方法を提供し、この方法は、ターゲットリソースの情報及び前記ターゲットリソースの情報に対応するライブ配信スタジオの情報が表示されているターゲットリソースのリソース移転ページを表示することと、前記ターゲットリソースに対するリソース移転操作に応答して、リソース移転成功情報を表示して、ターゲットリソース受領対象が前記ターゲットリソースを受領した場合に前記ライブ配信スタジオの該当する権限を取得するために用いられる前記ターゲットリソースをシェアすることとを含む。

【0006】

本開示の実施例の第二の態様は、リソース処理方法を提供し、この方法は、第二のページにターゲットリソースの受領識別子を表示することと、

【0007】

この受領識別子に対するトリガー操作に応答して、受領成功プロンプト情報を表示して、このターゲットリソースに基づいてこのターゲットリソースに対応するライブ配信スタジオの該当する権限を取得することとを含む、

この第二のページは、このライブ配信スタジオのライブ配信スタジオページと、このターゲットリソースのリソース移転ページと、このライブ配信スタジオのライブ配信プレビューページと、このライブ配信スタジオをサーチするサーチページとのうちの少なくとも一つを含む。

【0008】

本開示の実施例の第三の態様は、リソース処理方法を提供し、この方法は、ターゲットリソース受領対象により送信されるターゲットリソース受領命令を受信することと、

【0009】

このターゲットリソース受領命令に基づいて、このターゲットリソース受領対象にターゲットリソースを割り当てて、このターゲットリソース受領対象にこのターゲットリソースに基づいてこのターゲットリソースに対応するライブ配信スタジオの該当する権限を取得させることとを含む。

10

20

30

40

50

【 0 0 1 0 】

本開示の実施例の第四の態様は、リソース処理装置を提供し、この装置は、表示モジュールを含み、この表示モジュールは、ターゲットリソースの情報及び前記ターゲットリソースの情報に対応するライブ配信スタジオの情報が表示されているターゲットリソースのリソース移転ページを表示し、前記ターゲットリソースに対するリソース移転操作に応答して、リソース移転成功情報を表示して、ターゲットリソース受領対象が前記ターゲットリソースを受領した場合に前記ライブ配信スタジオの該当する権限を取得するために用いられる前記ターゲットリソースをシェアするように構成される、リソース処理方法。

【 0 0 1 1 】

本開示の実施例の第五の態様は、リソース処理装置を提供し、この装置は、表示モジュールを含み、この表示モジュールは、第二のページにターゲットリソースの受領識別子を表示し、この受領識別子に対するトリガー操作に応答して、受領成功プロンプト情報を表示して、このターゲットリソースに基づいてこのターゲットリソースに対応するライブ配信スタジオの該当する権限を取得するように構成され、この第二のページは、このライブ配信スタジオのライブ配信スタジオページと、このターゲットリソースのリソース移転ページと、このライブ配信スタジオのライブ配信プレビューページと、このライブ配信スタジオをサーチするサーチページとのうちの少なくとも一つを含む。

10

【 0 0 1 2 】

本開示の実施例の第六の態様は、リソース処理装置を提供し、この装置は、受信モジュールと割り当てモジュールとを含み、この受信モジュールは、ターゲットリソース受領対象により送信されるターゲットリソース受領命令を受信するように構成され、この割り当てモジュールは、この受信モジュールが受信したこのターゲットリソース受領命令に基づいて、このターゲットリソース受領対象にターゲットリソースを割り当てて、このターゲットリソース受領対象にこのターゲットリソースに基づいてこのターゲットリソースに対応するライブ配信スタジオの該当する権限を取得させるように構成される。

20

【 0 0 1 3 】

本開示の実施例の第七の態様は、電子機器を提供し、この電子機器は、プロセッサと、メモリと、このメモリに記憶され、このプロセッサ上で運行できるコンピュータプログラムとを含み、このコンピュータプログラムがこのプロセッサによって実行される時、第一の態様又は第二の態様又は第三の態様に記載のリソース処理方法を実現する。

30

【 0 0 1 4 】

本開示の実施例の第八の態様は、コンピュータ可読記憶媒体を提供し、このコンピュータ可読記憶媒体には、コンピュータプログラムが記憶されており、このコンピュータプログラムがプロセッサにより実行される時、第一の態様又は第二の態様又は第三の態様に記載のリソース処理方法を実現する。

【 0 0 1 5 】

本開示の実施例の第五の態様は、コンピュータプログラム製品を提供し、このコンピュータプログラム製品は、コンピュータプログラムを含み、このコンピュータプログラム製品がプロセッサ上で運行する時、第一の態様又は第二の態様又は第三の態様に記載のリソース処理方法を実現するようにプロセッサにこのコンピュータプログラムを実行させる。

40

【 0 0 1 6 】

本開示の実施例の第六の態様は、チップを提供し、このチップは、プロセッサと通信インターフェースとを含み、この通信インターフェースは、このプロセッサと結合され、このプロセッサは、プログラム命令を運行して、第一の態様又は第二の態様又は第三の態様に記載のリソース処理方法を実現するために用いられる。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 7 】

ここにおける図面は、明細書に組み込まれて本明細書の一部を構成し、本開示に適合する実施例を示し、明細書と共に本開示の原理を解釈するために用いられる。

【 0 0 1 8 】

50

本開示の実施例又は関連技術における技術案をより明瞭に説明するために、以下は、実施例又は関連技術記述において使用される必要のある図面を簡単に紹介し、自明なことに、当業者にとって、創造的な労力を払わない前提で、これらの図面に基づいて他の図面を得ることもできる。

【図 1】本開示の実施例によるターゲットリソース処理システムの構造概略図である。

【図 2】本開示の実施例によるリソース処理方法のフローチャートのその一である。

【図 3】本開示の実施例によるリソース処理方法のインタフェース概略図のその一である。

【図 4】本開示の実施例によるリソース処理方法のインタフェース概略図のその二である。

【図 5】本開示の実施例によるリソース処理方法のインタフェース概略図のその三である。

【図 6】本開示の実施例によるリソース処理方法のインタフェース概略図のその四である。

【図 7】本開示の実施例によるリソース処理方法のフローチャートのその二である。

【図 8】本開示の実施例によるリソース処理方法のインタフェース概略図のその五である。

【図 9】本開示の実施例によるリソース処理方法のインタフェース概略図のその六である。

【図 10】本開示の実施例によるリソース処理方法のフローチャートのその三である。

【図 11】本開示の実施例によるリソース処理装置の構造ブロック図のその一である。

【図 12】本開示の実施例によるリソース処理装置の構造ブロック図のその二である。

【図 13】本開示の実施例による電子機器の構造ブロック図である。

【発明を実施するための形態】

【0019】

本開示の上記目的、特徴と利点をより明瞭に理解できるように、以下は、本開示の方案についてさらに記述する。説明すべきこととして、衝突しない限り、本開示の実施例及び実施例における特徴は、互いに組み合わせられる可能である。

【0020】

本開示を十分に理解することを容易にするために、以下の記述において多くの具体的な詳細が記述されているが、本開示は、ここで記述される方式と異なる他の方式を採用して実施されてもよく、明らかに、明細書における実施例は、本開示の一部の実施例にすぎず、すべての実施例ではない。

【0021】

本開示の明細書と特許請求の範囲における用語である「第一」、「第二」などは、類似している対象を区別するものであり、特定の順序又は前後手順を記述するためのものではない。理解すべきこととして、このように使用される用語は、適切な場合に交換可能であり、それにより本開示の実施例は、ここで図示又は記述されたもの以外の順序で実施されることが可能であり、且つ「第一」、「第二」などによって区別される対象は、一般的には同一種類であり、対象の個数を限定せず、例えば第一の対象は、一つであってもよく、複数であってもよい。なお、明細書及び請求項における「及び/又は」は、接続される対象のうち少なくとも一つを表し、文字である「/」は、一般的には前後関連対象が「又は」の関係であることを表す。

【0022】

インターネットの波の下で、ハードウェアとソフトウェア技術の絶えない発展と進化は、スマート機器とソフトウェアの登場を促進した。これと同時に、ライブ配信サービス技術の成熟化が絶えず進み、異なるアプリケーションプラットフォームに組み込むことが可能となり、ユーザは、ネットワークライブ配信を通じて、ニュース、スポーツイベント、ショッピングのおすすめなどの番組をオンラインで視聴することができる。

【0023】

10

20

30

40

50

ライブ配信視聴権限を持っていなければライブ配信を視聴できないシナリオにおいて、従来のライブ配信視聴権限の取得方式は、あまりに単一で、ユーザの需要を満たすことができず、ユーザ体験に影響を与える。

【0024】

上記技術問題を解決するために、又は少なくとも部分的に上記技術問題を解決するために、本開示は、リソース処理方法、装置、電子機器、記憶媒体及びプログラム製品を提供する。

【0025】

まず、図1は、本開示の実施例に示されるターゲットリソース処理システムである。図1に示すように、前記ターゲットリソース処理システムは、少なくとも一つのターゲットリソースシェア対象110（図には一つのターゲットリソースシェア対象のみを例に示している）と、少なくとも一つのターゲットリソース受領対象120（図には一つのターゲットリソース受領対象のみを例に示している）と、ターゲットリソース割り当てプラットフォーム130とを含む。ここで、ターゲットリソース処理システムは、ターゲットリソース移転プラットフォームと、ブースタチケットシェアプラットフォームとをさらに含んでもよく、且つターゲットリソース割り当てプラットフォームとターゲットリソース移転プラットフォームは、独立して設置されるか又は集積設置されてもよく、以下は、ターゲットリソース割り当てプラットフォームとターゲットリソース移転プラットフォーム集積設置（ターゲットリソース処理プラットフォームと総称される）を例にして例示的な説明を行う。

10

20

【0026】

本開示の実施例におけるターゲットリソースシェア対象又はターゲットリソース受領対象は、モバイル電子機器であってもよく、非モバイル電子機器であってもよい。モバイル電子機器は、携帯電話、タブレットパソコン、ノートパソコン、パーソナルコンピュータ、車載電子機器、ウェアラブルデバイス、ウルトラモバイルパーソナルコンピュータ（ultra-mobile personal computer、UMPC）、ネットブック又はパーソナルデジタルアシスタント（personal digital assistant、PDA）などであってもよく、非モバイル電子機器は、パーソナルコンピュータ（personal computer、PC）、テレビ（television、TV）などであってもよく、本開示の実施例は、具体的に限定しない。

30

【0027】

以下では、図面を結び付けながら、具体的な実施例及びその応用シナリオによって本開示の実施例によるリソース処理方法を詳細に説明する。

【0028】

図2に示すように、本開示の実施例は、ターゲットリソースシェア対象に用いられるリソース処理方法を提供し、このターゲットリソースシェア対象は、上記電子機器であってもよく、上記電子機器におけるこのリソース処理方法を実現できる機能モジュール及び/又は機能エンティティであってもよく、具体的には実際の使用需要に応じて決定されてもよく、本開示の実施例に対して限定しない。この方法は、下記のステップ201からステップ202を含んでもよい。

40

【0029】

201、ターゲットリソースのリソース移転ページを表示し、このリソース移転ページには、ターゲットリソースの情報及びターゲットリソースの情報に対応するライブ配信スタジオの情報が表示されている。

【0030】

202、このターゲットリソースに対するリソース移転操作に応答して、リソース移転成功情報を表示して、このターゲットリソースをシェアし、このターゲットリソースは、ターゲットリソース受領対象がこのターゲットリソースを受領した場合にこのライブ配信スタジオの該当する権限を取得するために用いられる。

【0031】

50

ここで、ライブ配信スタジオの情報は、ライブ配信スタジオのライブ配信時間情報と、ライブ配信スタジオの識別子情報とを少なくとも含む。ライブ配信スタジオの情報は、ライブ配信スタジオのターゲットリソースの移転情報、ライブ配信スタジオのターゲットリソースの可移転期限情報などをさらにも含む。ここで、ライブ配信スタジオの識別子情報は、ライブ配信スタジオの名称情報、ライブ配信スタジオのポスター情報などを含んでもよく、本開示の実施例に対して限定しない。

【0032】

ここで、ターゲットリソースは、ライブ配信スタジオの視聴権限に対応してもよく、ページは、ライブ配信スタジオの操作権限に対応してもよく、ライブ配信スタジオの他の権限に対応してもよく、本開示の実施例に対して限定しない。

10

【0033】

ここで、ターゲットリソースの情報は、ターゲットリソースのタイプ情報であってもよく、ターゲットリソースの数情報、ターゲットリソースの移転価値情報、ターゲットリソースの説明情報（例えば移転ルール情報、使用ルール情報など）であってもよい。

【0034】

ここで、ターゲットリソース受領対象は、このターゲットリソースを受領するいずれかの対象であり、このターゲットリソースを受領する指定タイプの対象であってもよく、本出願の実施例に対して限定しない。

【0035】

本開示の実施例では、ターゲットリソースのリソース移転ページを表示し、このリソース移転ページにターゲットリソースの情報及びターゲットリソースの情報に対応するライブ配信スタジオの情報が表示されており、このターゲットリソースに対するリソース移転操作にตอบสนองして、リソース移転成功情報を表示することによって、このターゲットリソースをシェアすることができ、このターゲットリソースは、ターゲットリソース受領対象がこのターゲットリソースを受領した場合にこのライブ配信スタジオの該当する権限を取得するために用いられ、それによって、本方案は、ターゲットリソースをシェアする方式によって、ターゲットリソース受領対象がこのターゲットリソースを受領することによってこのライブ配信スタジオの該当する権限を取得させることができるため、ライブ配信スタジオの該当する権限の取得方式を豊富にし、ユーザ体験を高め、そしてライブ配信スタジオの該当する権限の移転量を高めることができる。そして、視聴者とキャスターとの間のインタラクティブ方式を豊富にし、視聴者は、ブースチケットを購入し、ブースチケットを他の視聴者にシェアして他の視聴者に受領させることによって好きなキャスターをサポートし、インタラクティブ体験を高めることができる。

20

30

【0036】

選択的に、このターゲットリソースの情報は、第一のタグにより指示されるリソースタイプと第二のタグにより指示されるリソースタイプとを含み、このリソース移転操作は、ターゲットリソースタイプを選択する操作を含み、このターゲットリソースタイプは、第一のタグにより指示されるリソースタイプ又は第二のタグにより指示されるリソースタイプであり、このターゲットリソース受領対象のタイプは、このターゲットリソースタイプにより指示される対象タイプである。

40

【0037】

理解できるように、このターゲットリソースの情報は、第一のタグにより指示されるリソースタイプと第二のタグにより指示されるリソースタイプとを含み、即ちターゲットリソースの情報は、ターゲットリソースのタイプ情報を含む。このリソース移転操作は、ターゲットリソースタイプを選択する操作を含み、即ちこのリソース移転操作は、ターゲットリソースタイプを選択する操作と移転ターゲットリソースを決定する操作とを含む。このターゲットリソースタイプは、第一のタグにより指示されるリソースタイプ又は第二のタグにより指示されるリソースタイプであり、即ちターゲットリソースタイプを選択する操作が第一のタグを選択する操作であれば、ターゲットリソースタイプは、第一のタグにより指示されるリソースタイプであり、ターゲットリソースタイプを選択する操作が第二

50

のタグを選択する操作であれば、ターゲットリソースタイプは、第二のタグにより指示されるリソースタイプである。このターゲットリソース受領対象のタイプは、このターゲットリソースタイプにより指示される対象タイプであり、即ちターゲットリソースタイプにより指示される対象タイプに属するターゲットリソース受領対象のみは、このターゲットリソースを受領し、このターゲットリソースを受領した後にライブ配信スタジオの該当する権限を取得することができる。

【0038】

本開示の実施例では、ターゲットリソースタイプを選択する操作によって、ターゲットリソースをターゲットリソースタイプにより指示される対象タイプに属する対象にシェアすることができ、このように需要に応じて指定される対象タイプの対象にシェアすることができ、ユーザ体験を向上させることができる。

10

【0039】

選択的に、上記ステップ202の後に、本開示の実施例によるリソース処理方法は、下記のステップ203をさらに含んでもよい。

【0040】

203、第一のページにこのターゲットリソースの受領進捗情報を表示する。

【0041】

ここで、この第一のページは、このライブ配信スタジオのライブ配信スタジオページと、このターゲットリソースの移転詳細ページと、このライブ配信スタジオのライブ配信プレビューページと、このターゲットリソースの受領詳細ページと、このターゲットリソースのシェア成功通知メッセージページとのうちのいずれか一つを含む。

20

【0042】

ここで、受領進捗情報は、すでに受領されたターゲットリソースの数と、受領されていない残りのターゲットリソースの数とを少なくとも含む。受領進捗情報は、ターゲットリソースの受領時限（即ちターゲットリソースが受領可能な有効時間範囲）、ライブ配信スタジオの情報などをさらに含んでもよく、本開示の実施例に対して限定しない。

【0043】

本開示の実施例では、第一のページにこのターゲットリソースの受領進捗情報を表示し、ターゲットリソースをシェアするユーザは、受領進捗情報に基づいてそのシェアするターゲットリソースの受領状況を決定することができ、ユーザ体験を向上させ、ユーザのシェア達成感を向上させることができる。

30

【0044】

例示的に、ターゲットリソースは、ライブ配信スタジオのブースチケット（即ちブースタ入場券）であってもよく、ターゲットリソースの情報は、ブースチケットの情報であってもよく、ライブ配信スタジオの情報は、ライブ配信スタジオのライブ配信コンテンツ情報、ライブ配信時間情報などであってもよく、ライブ配信スタジオの該当する権限は、ライブ配信スタジオの視聴権限であってもよく、移転詳細ページは、注文詳細ページであってもよい。下記のステップ21からステップ24によって上記のステップ201からステップ203を例示的に説明する。このターゲットリソース処理方法は、下記のステップ21からステップ22を含んでもよい。

40

【0045】

21、ブースチケット移転識別子を含むライブ配信スタジオの関連ページを表示する。

【0046】

22、このブースチケット移転識別子に対するトリガー操作にตอบสนองして、ブースチケットの移転成功情報を表示して、このブースチケットのシェアに成功し、このブースチケットは、このブースチケットを受領した場合にこのライブ配信スタジオを視聴する権限を得るために用いられる。

【0047】

選択的に、ブースチケットは、タイプを分けなくてもよく、タイプを分けてもよく、

50

例えばこのブースチケットタイプは、友達へのプレゼントタイプとオープンブースタイプとを含む。ここで、友達へのプレゼントタイプとは、ユーザがシェアするブースチケットを、このユーザのライブ配信アプリケーションプログラムの友達のみが受領できるものであり、オープンブースタイプとは、ユーザがシェアするブースチケットを、ライブ配信アプリケーションプログラムをサポートする任意の他のユーザが受領できるものである。

【0048】

ここで、本開示の実施例では、移転は、購入である。ブースチケット移転識別子（即ちブースチケット購入識別子）は、ブースチケット移転コントロール（キー又はボタン）であってもよく、ブースチケット移転アイコンであってもよく、他のブースチケット移転識別子であってもよく、本開示の実施例に対して限定しない。

10

【0049】

例示的に、ブースチケット移転識別子は、「無料チケット購入」ボタン、「私も無料チケットがほしい」ボタン又は「無料チケット追加」ボタンなどであってもよい。

【0050】

ここで、ライブ配信スタジオの関連ページは、ライブ配信スタジオの情報を含み、ここで、ライブ配信スタジオの情報は、ライブ配信スタジオのライブ配信時間情報と、ライブ配信スタジオの識別子情報とを少なくとも含む。ライブ配信スタジオの情報は、ライブ配信スタジオの入場券価格情報、ライブ配信スタジオの入場券販売期限情報などをさらに含んでもよく、本開示の実施例に対して限定しない。ここで、ライブ配信スタジオの識別子情報は、ライブ配信スタジオの名称情報、ライブ配信スタジオのポスター情報などを含んでもよく、本開示の実施例に対して限定しない。

20

【0051】

ここで、ライブ配信スタジオの関連ページは、ライブ配信スタジオの入場券詳細ページ、ブースチケットの受領詳細ページ又はライブ配信スタジオのチケット受領成功ポップアップページを含んでもよく、他のページをさらに含んでもよく、本開示の実施例に対して限定しない。

【0052】

例示的に、上記このブースチケット移転識別子に対するトリガー操作は、入場券詳細ページの「無料チケット購入」ボタン（又は「私も無料チケットがほしい」ボタン）のクリック、チケット受領成功ポップアップページの「私も無料チケットがほしい」ボタンのクリック、又は、受領詳細ページ（友達票&ブースチケット）「無料チケット追加」ボタンのクリックであってもよく、このトリガー操作に 응답して、ライブ配信スタジオの入場券が出品販売状態である時、ブースチケット購入に成功し、ブースチケットの移転成功情報を表示して、このブースチケットのシェアに成功し、後続にこのブースチケットを受領するユーザは、このライブ配信スタジオの視聴権限を得る。理解できるように、ライブ配信スタジオの入場券が出品終了の非販売状態である時、ブースチケット購入に失敗し、このブースチケットのシェアに失敗する。

30

【0053】

例示的に、入場券詳細ページは、図3における(a)に示されてもよく、入場券詳細ページは、図3における(b)に示されてもよく、チケット受領成功ポップアップページは、図3における(c)に示されてもよく、受領詳細ページは、図3における(d)に示されてもよい。

40

【0054】

本開示の実施例では、本方案は、ブースチケットをシェアすることで、他のユーザにこのブースチケットを受領することによってこのライブ配信スタジオを視聴する権限を得させることができるため、ライブ配信視聴権限の取得方式を豊富にし、そしてライブ配信スタジオ視聴権限の移転量を高め、ユーザ体験を高めることができる。

【0055】

選択的に、本開示の実施例では、受領されていないブースチケットは、払戻をサポート

50

トし、自発的な払戻と期限切れ自動払戻とを含むが、すでに受領されたブースタチケットは、払戻をサポートしない（自発的な払戻又は期限切れ自動払戻を含む）。

【0056】

本開示の実施例では、このブースタチケットは、移転のキャンセルをサポートせず、ブースタチケットの販売量を向上させることができ、そして移転のキャンセルをサポートしないため、販売量の統計を容易にすることができる。

【0057】

選択的に、すでにこのブースタチケットを受領したユーザの識別子は、このブースタチケットをシェアするユーザに可視化され、このブースタチケットをシェアするユーザの識別子は、すでにこのブースタチケットを受領したユーザに可視化される。

10

【0058】

ここで、このブースタチケットをシェアするユーザは、このブースタチケットを移転（購入）するユーザである。

【0059】

理解できるように、ブースタチケットを受領するユーザは、このブースタチケットをシェアするユーザの識別子に基づいて誰がシェアしたブースタチケットを受領したかを決定することができ、ブースタチケットをシェアするユーザは、このブースタチケットを受領するユーザの識別子に基づいて誰がそのシェアするブースタチケットを受領したかを決定することができ、このように、ユーザ体験を向上させることができる。

【0060】

例示的に、図3における(c)に示すように、ブースタチケットを受領するユーザは、チケット受領成功ポップアップページに基づいて、誰がシェアしたブースタチケットを受領したかを決定することができ、図3における(d)に示すように、このブースタチケットをシェアするユーザは、受領詳細ページから、誰がそのシェアするブースタチケットを受領したかを決定することができる。

20

【0061】

選択的に、上記ステップ21の後に、本開示の実施例によるリソース処理方法は、下記のステップ23をさらに含んでもよい。

【0062】

23、第一のページにこのブースタチケットの受領進捗情報を表示する。

30

【0063】

ここで、第一のページは、このライブ配信スタジオのライブ配信スタジオページと、このブースタチケットの注文詳細ページと、このライブ配信スタジオのライブ配信プレビューページと、このブースタチケットの受領詳細ページと、このブースタチケットシェア成功通知メッセージページとのうちのいずれか一つを含む。

【0064】

ここで、受領進捗情報は、すでに受領されたブースタチケットの数と、受領されていない残りのブースタチケットの数とを少なくとも含む。受領進捗情報は、ブースタチケット受領時限（即ちブースタチケットが受領可能な有効時間範囲）、ライブ配信スタジオの情報などをさらに含んでもよく、本開示の実施例に対して限定しない。

40

【0065】

例示的に、図4における(a)に示すように、ライブ配信スタジオのライブ配信スタジオページは、受領進捗カードを含み、受領進捗カードには、受領進捗情報が含まれる。図4における(b)に示すように、注文詳細ページは、チケット受領詳細エントリーコンポーネントを含み、このチケット受領詳細エントリーコンポーネントには、受領進捗情報が含まれ、そして、ユーザは、チケット受領詳細エントリーコンポーネントに対するトリガー操作によって受領詳細ページに入るようにトリガーすることができる。図4における(c)に示すように、プレビューストリームページは、受領進捗カードを含み、受領進捗カードには、受領進捗情報が含まれる。図4における(d)に示すように、ブースタチケットのシェア成功通知メッセージページは、受領進捗情報を含む。図3における(d)に示

50

すように、受領詳細ページは、受領進捗情報を含む。

【0066】

本開示の実施例では、第一のページにこのブースタチケットの受領進捗情報を表示し、ブースタチケットをシェアするユーザは、受領進捗情報に基づいてそのシェアするブースタチケットの受領状況を決定することができ、ユーザ体験を向上させ、ユーザの金主達成感を向上させることができる。

【0067】

選択的に、上記ステップ22は、具体的に下記ステップ22aからステップ22bによって実現されてもよい。

【0068】

22a、このブースタチケット移転識別子に対するトリガー操作に応答して、このライブ配信スタジオの移転情報ページを表示する。

【0069】

ここで、この移転情報ページは、このブースタチケットの関連ルール情報と、このブースタチケットの移転数と、このブースタチケットの移転に必要なリソース情報とを含む。

【0070】

ここで、リソース情報、即ち価格情報は、ブースタチケットの単価情報とブースタチケットの合計価格情報とを含んでもよい。

【0071】

ここで、この関連ルール情報は、購入ルール情報（例えばブースタチケットの最大購入数で、1回の最大購入数又は累計最大購入数であってもよい）、チケット返品ルール情報、シェアルール情報（プレゼントルール情報）などを含んでもよく、具体的には実際の状況に応じて決定されてもよく、本開示の実施例に対して限定しない。

【0072】

例示的に、この関連ルール情報は、このブースタチケットが移転のキャンセルをサポートしないことと、このブースタチケットが他のユーザによってブースタチケット受領識別子を含む第二のページ上で受領されることをサポートすることと、すでにこのブースタチケットを受領したユーザの識別子が、このブースタチケットをシェアするユーザに可視化されることと、このブースタチケットをシェアするこのユーザの識別子が、すでにこのブースタチケットを受領したユーザに可視化されることとのうちの少なくとも一つを含む。

【0073】

ここで、第二のページは、このライブ配信スタジオのライブ配信スタジオページと、このライブ配信スタジオの入場券詳細ページと、このライブ配信スタジオのライブ配信プレビューページと、このライブ配信スタジオをサーチするサーチページとのうちの少なくとも一つを含む。

【0074】

選択的に、このライブ配信スタジオページは、現在、ライブ配信試し視聴セグメントを再生してもよく、このライブ配信スタジオページは、現在、ライブ配信試し視聴終了情報を再生してもよく、このプレビューストリームページは、現在、ライブ配信試し視聴セグメントを再生してもよく、このプレビューストリームページは、現在、ライブ配信試し視聴終了情報を再生してもよく、このサーチページは、現在、ライブ配信試し視聴セグメントを再生してもよく、このサーチページは、現在、ライブ配信試し視聴終了情報を再生してもよく、具体的には実際の状況に応じて決定され、本開示の実施例に対して限定しない。

【0075】

ここで、移転情報ページは、ブースタチケットの購入情報ページであってもよい。移転情報ページは、移転情報設定ページ（例えばブースタチケット選択パネル）であってもよく、ブースタチケットの注文確認ページであってもよく、他のページであってもよく、本開示の実施例に対して限定しない。

【0076】

10

20

30

40

50

選択的に、この移転情報ページがこのブースタチケットの移転情報設定ページである場合に、この移転情報ページは、この移転数（即ち購入数）の設定オプションと、このブースタチケットタイプオプションと、このブースタチケットの累計移転上限（即ちブースタチケットの累計購入閾値、即ちブースタチケットの累計購入最大数）とのうちの少なくとも一つをさらに含む。この移転情報ページは、ブースタチケットの単価と合計価格とをさらに含み、ブースタチケットの合計価格がブースタチケットの単価及び移転数の乗積と優恵金額との差分値に等しいため、移転数の変更に伴い、ブースタチケットの合計価格が変更する。

【0077】

例示的に、図5における(a)に示すように、移転情報ページは、ブースタチケット選択パネル（無料チケット選択パネルと呼ばれてもよい）であってもよく、ブースタチケット選択パネルによってブースタチケットの関連情報を設定し、例えばブースタチケットの移転数（購入数）を設置し、ブースタチケットタイプなどを設置することができる。

10

【0078】

例示的に、図5における(b)に示すように、移転情報ページは、注文確認ページ（即ちブースタチケットの購入確認ページ）であってもよく、注文確認ページは、ライブ配信スタジオの情報をさらに含んでもよい。

【0079】

22b、この移転情報ページに対するトリガー操作に応答して、このブースタチケットの移転成功情報を表示する。

20

【0080】

本開示の実施例では、移転情報ページを表示することによって、ユーザがブースタチケットの関連情報を設定するか又はブースタチケットの移転注文情報を確認することを容易にすることができ、ユーザ体験を向上させることができる。

【0081】

選択的に、上記ステップ22の後に、本開示の実施例によるリソース処理方法は、下記のステップ24をさらに含んでもよい。

【0082】

24、第二のページにおけるチケット受領詳細閲覧識別子に対するトリガー操作に応答して、このブースタチケットの受領詳細ページを表示する。

30

【0083】

ここで、この受領詳細ページは、受領進捗情報と、このライブ配信スタジオの情報と、すでにこのブースタチケットを受領したユーザ識別子とを含む。

【0084】

ここで、第二のページは、このライブ配信スタジオのライブ配信スタジオページと、このブースタチケットの注文詳細ページと、このブースタチケット注文を含む注文リストページと、このブースタチケットが受領されたことをプロンプトするシェア成功通知メッセージページと、このブースタチケットが返却されたことをプロンプトする返却成功通知メッセージページとのうちの少なくとも一つを含む。

【0085】

ここで、チケット受領詳細閲覧識別子は、チケット受領詳細閲覧コントロールであってもよく、チケット受領詳細閲覧アイコンであってもよく、他の識別子であってもよく、具体的には実際の状況に応じて決定されてもよく、本開示の実施例に対して限定しない。

40

【0086】

例示的に、チケット受領詳細閲覧識別子のトリガー操作は、注文リストページの「チケット受領詳細」ボタンのクリック、注文詳細ページの「チケット受領詳細」ボタンのクリック、注文詳細ページヘッダー領域のチケット受領詳細エントリーコンポーネントのクリック、シェア成功通知メッセージページの「閲覧詳細」オプションのクリック、返却成功通知メッセージページの「閲覧詳細」オプションのクリック、又はライブ配信スタジオページの「閲覧受領進捗」オプションのクリックであってもよく、このトリガー操作に応答

50

して、このブースチケットの受領詳細ページを表示する。

【0087】

例示的に、注文リストページは、図6における(a)に示されてもよく、シェア成功通知メッセージページは、図4における(d)に示されてもよく、返却成功通知メッセージページは、図6における(b)示されてもよい。

【0088】

本開示の実施例では、様々な受領詳細ページに入る方式を提供しており、ユーザ操作を容易にし、ユーザが受領詳細ページをタイムリーに閲覧することを容易にすることができ、ユーザ体験を向上させることができる。

【0089】

例示的に、入場券詳細ページにおける「入場券購入」ボタンによって入場券を購入してもよく、入場券詳細ページにおける「無料チケット購入」ボタンによってブースチケット選択パネル(無料チケット選択パネルと呼ばれてもよい)を呼び起こしてもよく、ここで、「無料チケット購入」ボタンは、ブースチケット選択パネルエントリーである。本開示の実施例では、入場券詳細ページに「入場券購入」ボタンと「無料チケット購入」ボタンとを同時に表示してもよく、入場券詳細ページに「入場券購入」ボタンを先に表示し、「入場券購入」ボタンによる入場券購入に成功した後に、入場券詳細ページに「無料チケット購入」ボタンをさらに表示してもよく、具体的には実際の状況に応じて決定されてもよく、本開示の実施例に対して限定しない。ここで、ブースチケット選択パネルは、ブースチケットタイプ(即ち誰にプレゼントするか)オプションと、選定されたブースチケットタイプの提示に対応するブースチケット説明と、ライブ配信スタジオの入場券価格(ブースチケット価格)と、ブースチケット購入数と、ブースチケット合計価格などの情報とを含む。

【0090】

図7に示すように、本開示の実施例は、ターゲットリソース受領対象に用いられるリソース処理方法を提供し、ターゲットリソース受領対象は、上記電子機器であってもよく、上記電子機器におけるこのリソース処理方法を実現できる機能モジュール及び/又は機能エンティティであってもよく、具体的には実際の使用需要に応じて決定されてもよく、本開示の実施例に対して限定しない。この方法は、下記のステップ301からステップ302を含んでもよい。

【0091】

301、第二のページにターゲットリソースの受領識別子を表示する。

【0092】

302、この受領識別子に対するトリガー操作に応答して、受領成功プロンプト情報を表示して、このターゲットリソースに基づいてこのターゲットリソースに対応するライブ配信スタジオの該当する権限を取得する。

【0093】

ここで、この第二のページは、このライブ配信スタジオのライブ配信スタジオページと、このターゲットリソースのリソース移転ページと、このライブ配信スタジオのライブ配信プレビューページと、このライブ配信スタジオをサーチするサーチページとのうちの少なくとも一つを含む。

【0094】

本開示の実施例では、他のユーザがシェアするターゲットリソースを受領することによってライブ配信スタジオの該当する権限を取得することができるため、ライブ配信スタジオの該当する権限の取得方式を豊富にし、ユーザ体験を高める。

【0095】

選択的に、この第二のページがこのライブ配信スタジオページ、このライブ配信プレビューページ又はこのサーチページを含む場合に、上記ステップ301は、具体的に下記ステップ301aによって実現されてもよい。

【0096】

10

20

30

40

50

301a、この第二のページにおけるこのライブ配信スタジオの試し視聴セグメントの再生が終了した場合に、この受領識別子を表示する。

【0097】

選択的に、上記ステップ301aは、具体的に下記ステップ301bによって実現されてもよい。

【0098】

本開示の実施例では、ライブ配信スタジオの試し視聴セグメントの再生が終了した場合に、この受領識別子を表示することは、ターゲットリソースを受領し、ターゲットリソースに対応するライブ配信スタジオの該当する権限を取得するようにユーザを効果的に誘導することができ、ユーザ体験を向上させることができる。

10

【0099】

301b、この第二のページにおけるこのライブ配信スタジオの試し視聴セグメントの再生が終了し、且つターゲットリソース受領対象が受領条件を満たす場合に、この受領識別子を表示する。

【0100】

ここで、この受領条件は、このターゲットリソース受領対象がこのライブ配信スタジオの該当する権限を取得していないことと、現在時刻がこのターゲットリソースの受領期限内であることと、このターゲットリソースの残量が0よりも大きいこととのうちの少なくとも一つを含む。

【0101】

20

本開示の実施例では、ライブ配信スタジオの試し視聴セグメントの再生が終了し、且つターゲットリソース受領対象が受領条件を満たす場合に、この受領識別子を表示することは、ターゲットリソースを受領し、ターゲットリソースに対応するライブ配信スタジオの該当する権限を取得するようにユーザを効果的に誘導することができ、ユーザ体験を向上させることができる。

【0102】

例示的に、ターゲットリソースは、ライブ配信スタジオのブースチケット（即ちブースタ入場券）であってもよく、ターゲットリソースの情報は、ブースチケットの情報であってもよく、ライブ配信スタジオの情報は、ライブ配信スタジオのライブ配信コンテンツ情報、ライブ配信時間情報などであってもよく、ライブ配信スタジオの該当する権限は、ライブ配信スタジオの視聴権限であってもよく、リソース移転ページは、ライブ配信スタジオの入場券詳細ページであってもよく、移転詳細ページは、注文詳細ページであってもよい。下記のステップ31からステップ32によって上記のステップ301からステップ302を例示的に説明する。このターゲットリソース処理方法は、下記のステップ31からステップ32を含んでもよい。

30

【0103】

31、第二のページにブースチケットの受領識別子を表示する。

【0104】

32、この受領識別子に対するトリガー操作に応答して、受領成功プロンプト情報を表示して、このブースチケットに基づいてライブ配信スタジオを視聴する権限を得る。

40

【0105】

ここで、第二のページは、このライブ配信スタジオのライブ配信スタジオページと、このライブ配信スタジオの入場券詳細ページと、このライブ配信スタジオのライブ配信レビューページと、このライブ配信スタジオをサーチするサーチページとのうちの少なくとも一つを含む。

【0106】

ここで、受領識別子は、受領コントロールであってもよく、受領アイコンであってもよい。

【0107】

第二のページの記述について、上記ステップ24における第二のページの関連記述を参

50

照すればよく、ここでこれ以上説明しない。

【0108】

ここで、ライブ配信スタジオを視聴する権限は、ライブ配信スタジオのライブ配信コンテンツを視聴する権限と、ライブ配信スタジオの録画コンテンツを視聴する（即ち再生コンテンツを視聴する）権限とを含んでもよい。

【0109】

本開示の実施例では、他のユーザがシェアするブースチケットを受領することによってライブ配信スタジオを視聴する権限を得ることができるため、ライブ配信視聴権限の取得方式を豊富にし、ユーザ体験を高める。

【0110】

選択的に、第二のページがこのライブ配信スタジオページ、このプレビューストリームページ又はこのサーチページを含む場合に、上記ステップ31は、具体的に下記ステップ31aによって実現されてもよい。

【0111】

31a、第二のページにおけるこのライブ配信スタジオの試し視聴セグメントの再生が終了した場合に、この受領識別子を表示する。

【0112】

本開示の実施例では、ライブ配信スタジオの試し視聴セグメントを視聴したため、継続して視聴する必要があるかどうかを決定することができるため、ライブ配信スタジオの試し視聴セグメントの再生が終了した場合に、この受領識別子を表示することは、ブースチケットを受領し、ライブ配信スタジオを継続して視聴する権限を取得するようにユーザを効果的に誘導することができ、ユーザ体験を向上させることができる。

【0113】

選択的に、本開示の実施例では、このライブ配信スタジオの試し視聴セグメント再生中にこの受領識別子を表示してもよいため、ユーザがライブ配信スタジオを継続して視聴する必要があると決めた時、受領識別子の操作によって、ライブ配信スタジオを継続して視聴する権限をタイムリーに取得することができ、ユーザ体験を向上させることができる。

【0114】

理解できるように、ユーザがすでにライブ配信スタジオを視聴する権限を持っている場合に、ライブ配信スタジオの試し視聴セグメントの再生が終了した後に、直接にライブ配信スタジオの残りのフラグメントを継続して再生する。

【0115】

選択的に、上記ステップ31aは、具体的に下記ステップ31bによって実現されてもよい。

【0116】

31b、第二のページにおけるこのライブ配信スタジオの試し視聴セグメントの再生が終了し、且つこのブースチケット受領対象が受領条件を満たす場合に、この受領識別子を表示する。

【0117】

ここで、この受領条件は、このブースチケット受領対象がこのライブ配信スタジオを視聴する権限を備えていないことと、現在時刻がこのブースチケットの受領期限内であることと、このブースチケットの残券数が0よりも大きいこととのうちの少なくとも一つを含む。

【0118】

理解できるように、第二のページにおけるこのライブ配信スタジオの試し視聴セグメントの再生が終了し、且つこのブースチケット受領対象が受領条件を満たす場合に、この受領識別子を表示し、第二のページにおけるこのライブ配信スタジオの試し視聴セグメントの再生が終了し、且つこのブースチケット受領対象が受領条件を満たさない場合に、この受領識別子を表示せず、ユーザがすでにライブ配信スタジオを視聴する権限を持っている場合に、ライブ配信スタジオの試し視聴セグメントの再生が終了した後に、直接にラ

10

20

30

40

50

ライブ配信スタジオの残りのフラグメントを継続して再生し、ユーザがライブ配信スタジオを視聴する権限を持っていない場合に、購入識別子に対するトリガー操作によって、入場券購入識別子を表示するライブ配信スタジオの関連ページをトリガーすることができるように、ライブ配信スタジオを視聴する権限がないというプロンプト情報を表示し、又は購入識別子（移転識別子）を表示してもよく、それによってユーザは、識別子参加購入チケットを購入することによってライブ配信スタジオを視聴する権限を得ることができる。

【0119】

例示的に、図8における(a)に示すように、ライブ配信スタジオページの試し視聴セグメント再生中にブースタチケット受領誘導パネルが表示され、ブースタチケット受領誘導パネルには、「チケットを奪い合う」ボタンが含まれ、図8における(b)に示すように、ライブ配信スタジオページの試し視聴セグメント再生が終了した後にブースタチケット受領誘導パネルが表示され、ブースタチケット受領誘導パネルには、「チケットを奪い合う」ボタンが含まれる。図9における(a)に示すように、プレビューストリームページの試し視聴セグメント再生中にブースタチケット受領誘導パネルが表示され、ブースタチケット受領誘導パネルには、「チケットを奪い合う」ボタンが含まれ、図9における(b)に示すように、プレビューストリームページの試し視聴セグメント再生が終了した後にブースタチケット受領誘導パネルが表示され、ブースタチケット受領誘導パネルには、「チケットを奪い合う」ボタンが含まれ、図9における(c)に示すように、サーチページの試し視聴セグメント再生中にブースタチケット受領誘導パネルが表示され、ブースタチケット受領誘導パネルには、「チケットを奪い合う」ボタンが含まれ、図9における(d)に示すように、サーチページの試し視聴セグメント再生が終了した後にブースタチケット受領誘導パネルが表示され、ブースタチケット受領誘導パネルには、「チケットを奪い合う」ボタンが含まれる。

【0120】

本開示の実施例では、このライブ配信スタジオの試し視聴セグメントの再生が終了し、且つこのブースタチケット受領対象が受領条件を満たす場合に、この受領識別子を表示することは、ブースタチケットを受領し、ライブ配信スタジオを視聴する権限を得るようにユーザを効果的に誘導することができる。

【0121】

図10に示すように、本開示の実施例は、ターゲットリソース割り当てプラットフォームに用いられるリソース処理方法を提供し、ターゲットリソース割り当てプラットフォームは、サーバであってもよく、サーバにおけるこのリソース処理方法を実現できる機能モジュール及び/又は機能エンティティであってもよく、具体的には実際の使用需要に応じて決定されてもよく、本開示の実施例に対して限定せず、ここで、サーバは、少なくとも一台のコンピュータによって構成されてもよい。この方法は、下記のステップ401からステップ402を含んでもよい。

【0122】

401、ターゲットリソース受領対象により送信されるターゲットリソース受領命令を受信する。

【0123】

402、このターゲットリソース受領命令に基づいて、このターゲットリソース受領対象にターゲットリソースを割り当てて、このターゲットリソース受領対象にこのターゲットリソースに基づいてこのターゲットリソースに対応するライブ配信スタジオの該当する権限を取得させる。

【0124】

本開示の実施例では、ターゲットリソース受領対象にターゲットリソースを割り当てることによってターゲットリソース受領対象にターゲットリソースに対応するライブ配信スタジオの該当する権限を得させることができるため、ライブ配信スタジオの該当する権限の取得方式を豊富にし、ユーザ体験を高める。

【0125】

10

20

30

40

50

選択的に、上記ステップ402は、具体的に下記ステップ402aによって実現されてもよい。

【0126】

402a、このターゲットリソース受領命令に基づいて、受領条件を満たす場合に、このターゲットリソース受領対象にターゲットリソースを割り当てる。

【0127】

ここで、この受領条件は、このターゲットリソース受領対象がこのライブ配信スタジオの該当する権限を取得していないことと、現在時刻がこのターゲットリソースの受領期限内であることと、このターゲットリソースの残量が0よりも大きいこととのうちの少なくとも一つを含む。

10

【0128】

本開示の実施例では、このターゲットリソース受領命令に基づいて、受領条件を満たす場合に、このターゲットリソース受領対象にターゲットリソースを割り当てることによって、ターゲットリソース受領対象がこのライブ配信スタジオの該当する権限を取得した場合に、ターゲットリソース受領対象に割り当てられたターゲットリソースによってターゲットリソースを浪費することを回避することができ、ターゲットリソース受領対象に受領期限内でないターゲットリソースを割り当てするか又は存在しないターゲットリソースを割り当て、及び無効なターゲットリソースを割り当てることを回避することもできる。

【0129】

選択的に、このターゲットリソースシェア対象が、ターゲットリソースが受領されたかどうかをタイムリーに知ることを容易にするために、上記ステップ402の後に、ターゲットリソースシェア対象にターゲットリソースシェア成功通知メッセージを送信してもよい。

20

【0130】

ここで、ターゲットリソースシェア対象は、このターゲットリソース受領対象がこのターゲットリソースを受領するためにこのターゲットリソースをシェアする対象である。

【0131】

選択的に、上記ステップ401の後に、このターゲットリソース受領命令に基づいて、このターゲットリソース受領対象にターゲットリソースを割り当てることができない場合に、このターゲットリソース受領対象がターゲットリソースの受領に成功したかどうかをタイムリーに知ることを容易にするために、ターゲットリソース受領対象に受領失敗通知メッセージを送信する。

30

【0132】

選択的に、上記ステップ402の後に、本開示の実施例によるリソース処理方法は、下記のステップ403をさらに含んでもよい。

【0133】

403、第一の周波数制御条件を満たす場合に、ターゲットリソースシェア対象にターゲットリソースシェア成功通知メッセージを送信する。

【0134】

ここで、ターゲットリソースシェア対象は、このターゲットリソース受領対象がこのターゲットリソースを受領するためにこのターゲットリソースをシェアする対象である。

40

【0135】

第一の周波数制御条件は、現在時刻からこのターゲットリソースシェア対象にターゲットリソースシェア成功通知メッセージを最後に送信した時刻までの時間長が第一の時間長閾値以上であることと、このターゲットリソースシェア対象にターゲットリソースシェア成功通知メッセージを送信した当日累計回数が第一の回数閾値よりも小さいこととのうちの少なくとも一つを含む。

【0136】

ここで、このターゲットリソースシェア成功通知メッセージは、現在時刻までにターゲットリソースシェア成功通知メッセージを送信していないすべてのターゲットリソース受

50

領成功情報を含む。

【0137】

選択的に、上記ステップ402の後に、本開示の実施例によるリソース処理方法は、下記のステップ404からステップ405をさらに含んでもよい。

【0138】

404、このターゲットリソース受領対象により送信されるターゲットリソース返却命令を受信する。

【0139】

405、このターゲットリソース返却命令に基づいて、このターゲットリソース受領対象に割り当てられたターゲットリソースを撤回する。

10

【0140】

本開示の実施例では、ターゲットリソース受領対象に割り当てられたターゲットリソースを撤回することによって、ターゲットリソース受領対象のライブ配信スタジオの該当する権限をキャンセルすることができるため、ライブ配信の該当する権限のキャンセル方式を豊富にし、ユーザ体験を高める。

【0141】

選択的に、上記ステップ405は、具体的に下記ステップ405aによって実現されてもよい。

【0142】

405a、このターゲットリソース返却命令に基づいて、返却条件を満たす場合に、このターゲットリソース受領対象に割り当てられたターゲットリソースを撤回する。

20

【0143】

ここで、この返却条件は、このターゲットリソース受領対象がこのターゲットリソースを介してこのライブ配信スタジオの該当する権限を使用していないことと、現在時刻がこのターゲットリソースの受領期限内であることとのうちの少なくとも一つを含む。

【0144】

本開示の実施例では、返却条件を満たす場合に、ターゲットリソース受領対象に割り当てられたターゲットリソースを撤回することによって、ターゲットリソース受領対象のライブ配信スタジオの該当する権限をキャンセルすることができるため、ライブ配信の該当する権限のキャンセル方式を豊富にし、ユーザ体験を高める。そして、ターゲットリソース受領対象がすでにこのターゲットリソースによってこのライブ配信スタジオの該当する権限を使用した後にターゲットリソースを返却し、返却されたターゲットリソースがすでに無効化されており、他のユーザが受領できないことを回避することができ、返却されたターゲットリソースがすでに受領期限内ではなく、他のユーザが受領できないことを回避することもできる。

30

【0145】

選択的に、このターゲットリソースシェア対象が、ターゲットリソースが返却されたかどうかをタイムリーに知ることを容易にするために、上記ステップ405の後に、ターゲットリソースシェア対象にターゲットリソース返却成功通知メッセージを送信してもよい。

40

【0146】

選択的に、上記ステップ404の後に、このターゲットリソース返却命令に基づいて、このターゲットリソース受領対象に割り当てられたターゲットリソースを取り消すことができない場合に、このターゲットリソース受領対象がターゲットリソースの返却に成功したかどうかをタイムリーに知ることを容易にするために、ターゲットリソース受領対象に返却失敗通知メッセージを送信する。

【0147】

選択的に、上記ステップ405の後に、本開示の実施例によるリソース処理方法は、下記のステップ406をさらに含んでもよい。

【0148】

50

406、第二の周波数制御条件を満たす場合に、このターゲットリソースシェア対象にターゲットリソース返却成功通知メッセージを送信する。

【0149】

この第二の周波数制御条件は、現在時刻からこのターゲットリソースシェア対象にターゲットリソース返却成功通知メッセージを最後に送信した時刻までの時間長が第二の時間長閾値以上であることと、このターゲットリソースシェア対象にターゲットリソース返却成功通知メッセージを送信した当日累計回数が第二の回数閾値よりも小さいこととのうちの少なくとも一つを含む。

【0150】

ここで、このターゲットリソース返却成功通知メッセージは、現在時刻までにターゲットリソース返却成功通知メッセージを送信していないすべてのターゲットリソース返却情報を含む。

10

【0151】

本開示の実施例では、第二の周波数制御条件によってターゲットリソース返却成功通知メッセージをあまりに頻繁に送信することを回避することができ、このようにユーザ体験を向上させることができる。

【0152】

例示的に、ターゲットリソースは、ライブ配信スタジオのブースチケット（即ちブースタ入場券）であってもよく、ターゲットリソースの情報は、ブースチケットの情報であってもよく、ライブ配信スタジオの情報は、ライブ配信スタジオのライブ配信コンテンツ情報、ライブ配信時間情報などであってもよく、ライブ配信スタジオの該当する権限は、ライブ配信スタジオの視聴権限であってもよく、リソース移転ページは、ライブ配信スタジオの入場券詳細ページであってもよく、移転詳細ページは、注文詳細ページであってもよい。下記のステップ41からステップ46によって上記のステップ401からステップ406を例示的に説明する。このターゲットリソース処理方法は、下記のステップ41からステップ42を含んでもよい。

20

【0153】

41、ブースチケット受領対象により送信されるブースチケット受領命令を受信する。

【0154】

42、このブースチケット受領命令に基づいて、受領条件を満たす場合に、このブースチケット受領対象にブースチケットを割り当てて、このブースチケット受領対象にこのブースチケットに基づいてライブ配信スタジオを視聴する権限を得させる。

30

【0155】

ここで、この受領条件は、このブースチケット受領対象がこのライブ配信スタジオを視聴する権限を備えていないことと、現在時刻がこのブースチケットの受領期限内であることと、このブースチケットの残券数が0よりも大きいこととのうちの少なくとも一つを含む。

【0156】

選択的に、上記ステップ42は、具体的にこのブースチケット受領命令に基づいて、受領条件を満たす場合に、このブースチケット受領対象にブースチケットをランダムに割り当てて、このブースチケット受領対象にこのブースチケットに基づいてライブ配信スタジオを視聴する権限を得させることであってもよい。

40

【0157】

理解できるように、ブースチケット受領対象は、ユーザの受領識別子に対するトリガー操作を受信し、ブースチケット割り当てプラットフォームにブースチケット受領命令を送信する。ブースチケット割り当てプラットフォームは、このブースチケット受領命令を受信し、このブースチケット受領命令に基づいて、受領条件を満たす場合に、このブースチケット受領対象にブースチケットを割り当てる。

【0158】

50

本開示の実施例では、ブースタチケット割り当てプラットフォームは、受信されたブースタチケット受領対象により送信されるこのブースタチケット受領命令に基づいて、受領条件を満たす場合に、このブースタチケット受領対象にブースタチケットを割り当てて、このブースタチケット受領対象にこのブースタチケットに基づいてライブ配信スタジオを視聴する権限を得させ、このようにブースタチケット受領対象にブースタチケットを割り当てることによってブースタチケット受領対象にライブ配信スタジオを視聴する権限を得させることができるため、ライブ配信視聴権限の取得方法を豊富にし、ユーザ体験を高める。

【0159】

選択的に、上記ステップ42の後に、本開示の実施例によるリソース処理方法は、このブースタチケット受領対象にブースタチケット受領成功通知メッセージを送信することと、このブースタチケットシェア対象にブースタチケットシェア成功通知メッセージを送信することとをさらに含んでもよい。このブースタチケット受領対象とブースタチケットシェア対象がブースタチケットの受領に成功したかどうかをタイムリーに知ることを容易にする。

10

【0160】

選択的に、上記ステップ41の後に、本開示の実施例によるリソース処理方法は、この受領条件を満たさない場合に、このブースタチケット受領対象にブースタチケット受領失敗通知メッセージを送信することをさらに含んでもよい。このブースタチケット受領対象がブースタチケットの受領に成功したかどうかをタイムリーに知ることを容易にする。

20

【0161】

選択的に、上記ステップ42の後に、本開示の実施例によるリソース処理方法は、下記のステップ43をさらに含んでもよい。

【0162】

43、第一の周波数制御条件を満たす場合に、ブースタチケットシェア対象にブースタチケットシェア成功通知メッセージを送信する。

【0163】

第一の周波数制御条件は、現在時刻からこのブースタチケットシェア対象にブースタチケットシェア成功通知メッセージを最後に送信した時刻までの時間長が第一の時間長閾値以上であることと、このブースタチケットシェア対象にブースタチケットシェア成功通知メッセージを送信した当日累計回数が第一の回数閾値よりも小さいこととのうちの少なくとも一つを含む。

30

【0164】

このブースタチケットシェア成功通知メッセージは、現在時刻までにブースタチケットシェア成功通知メッセージを送信していないすべてのブースタチケット受領成功情報を含む。理解できるように、今回のブースタチケット受領に成功する前に通知メッセージを送信していないブースタチケット受領成功イベントを含む場合に、このブースタチケットシェア成功通知メッセージは、今度のブースタチケット受領成功情報と、以前に通知メッセージを送信しなかったブースタチケット受領成功情報とを含み、今回のブースタチケット受領に成功する前に通知メッセージを送信していないブースタチケット受領成功イベントを含まない場合に、このブースタチケットシェア成功通知メッセージは、今度のブースタチケット受領成功情報を含む。

40

【0165】

本開示の実施例では、第一の周波数制御条件によってブースタチケットシェア成功通知メッセージを頻繁に送信することを回避することができる。このようにユーザ体験を向上させることができる。

【0166】

選択的に、本開示の実施例によるリソース処理方法は、下記のステップ44からステップ45をさらに含んでもよい。

【0167】

50

44、このブースチケット受領対象により送信される返却ブースチケット命令を受信する。

【0168】

45、この返却ブースチケット命令に基づいて、返却条件を満たす場合に、このブースチケット受領対象に割り当てられたブースチケットを撤回する。

【0169】

ここで、この返却条件は、このブースチケット受領対象がこのブースチケットによってこのライブ配信スタジオを視聴していないことと（ライブ配信スタジオのライブ配信コンテンツを視聴すること、及び/又は、ライブ配信スタジオの再生コンテンツを視聴することを含む）、現在時刻がこのブースチケットの受領期限内であることとのうちの少なくとも一つを含む。

10

【0170】

本開示の実施例では、ブースチケット割り当てプラットフォームは、受信されたブースチケット受領対象により送信されるこの返却ブースチケット命令に基づいて、返却条件を満たす場合に、このブースチケット受領対象に割り当てられたブースチケットを撤回して、このブースチケット受領対象がライブ配信スタジオを視聴する権限をキャンセルさせ、このようにライブ配信視聴権限のキャンセル方式を豊富にし、ユーザ体験を高める。

【0171】

選択的に、上記ステップ45の後に、本開示の実施例によるリソース処理方法は、このブースチケット受領対象にブースチケット返却成功通知メッセージを送信することと、このブースチケットシェア対象にブースチケット返却成功通知メッセージを送信することとをさらに含んでもよい。このブースチケット受領対象とブースチケットシェア対象がブースチケットの返却に成功したかどうかをタイムリーに知ることを容易にする。

20

【0172】

選択的に、上記ステップ44の後に、本開示の実施例によるリソース処理方法は、この返却条件を満たさない場合に、このブースチケット受領対象にブースチケット返却失敗通知メッセージを送信することとをさらに含んでもよい。このブースチケット受領対象がブースチケットの返却に成功したかどうかをタイムリーに知ることを容易にする。

30

【0173】

選択的に、上記ステップ45の後に、本開示の実施例によるリソース処理方法は、下記のステップ46をさらに含んでもよい。

【0174】

46、第二の周波数制御条件を満たす場合に、このブースチケットシェア対象にブースチケット返却成功通知メッセージを送信する。

【0175】

ここで、第二の周波数制御条件は、現在時刻からこのブースチケットシェア対象にブースチケット返却成功通知メッセージを最後に送信した時刻までの時間長が第二の時間長閾値以上であることと、このブースチケットシェア対象にブースチケット返却成功通知メッセージを送信した当日累計回数が第二の回数閾値よりも小さいこととのうちの少なくとも一つを含む。

40

【0176】

このブースチケット返却成功通知メッセージは、現在時刻までにブースチケット返却成功通知メッセージを送信していないすべてのブースチケット返却情報を含む。理解できるように、今回のブースチケット返却に成功する前に通知メッセージを送信していないブースチケット返却成功イベントを含む場合に、このブースチケット返却成功通知メッセージは、今度のブースチケット返却成功情報と、以前に通知メッセージを送信しなかったブースチケット返却成功情報とを含み、今回のブースチケット返却に成功する前に通知メッセージを送信していないブースチケット返却成功イベントを含まない

50

場合に、このブースタチケット返却成功通知メッセージは、今度のブースタチケット返却成功情報を含む。

【0177】

図11は、本開示の実施例に示されるリソース処理装置の構造ブロック図であり、このリソース処理装置は、上記電子機器であってもよく、上記電子機器におけるこのリソース処理方法を実現できる機能モジュール及び/又は機能エンティティであってもよく、具体的には実際の使用需要に応じて決定されてもよく、本開示の実施例に対して限定しない。

【0178】

図11に示すように、このリソース処理装置は、表示モジュール501を含み、この表示モジュール501は、ターゲットリソースの情報及びこのターゲットリソースの情報に対応するライブ配信スタジオの情報が表示されているターゲットリソースのリソース移転ページを表示し、このターゲットリソースに対するリソース移転操作に応答して、リソース移転成功情報を表示して、ターゲットリソース受領対象がこのターゲットリソースを受領した場合にこのライブ配信スタジオの該当する権限を取得するために用いられるこのターゲットリソースをシェアする。

10

【0179】

選択的に、このターゲットリソースの情報は、第一のタグにより指示されるリソースタイプと第二のタグにより指示されるリソースタイプとを含み、このリソース移転操作は、ターゲットリソースタイプを選択する操作を含み、このターゲットリソースタイプは、第一のタグにより指示されるリソースタイプ又は第二のタグにより指示されるリソースタイプであり、このターゲットリソース受領対象のタイプは、このターゲットリソースタイプにより指示される対象タイプである。

20

【0180】

選択的に、この表示モジュール501はさらに、第一のページにこのターゲットリソースの受領進捗情報を表示するために用いられ、ここで、この第一のページは、このライブ配信スタジオのライブ配信スタジオページと、このターゲットリソースの移転詳細ページと、このライブ配信スタジオのライブ配信プレビューページと、このターゲットリソースの受領詳細ページと、このターゲットリソースのシェア成功通知メッセージページとのうちのいずれか一つを含む。

【0181】

本開示の実施例では、各モジュールは、上記方法の実施例によるリソース処理方法を実現することができ、且つ同じ技術的効果を達成することができ、説明の繰り返しを回避するために、ここでこれ以上説明しない。

30

【0182】

図11は、本開示の実施例に示されるリソース処理装置の構造ブロック図であり、このリソース処理装置は、上記電子機器であってもよく、上記電子機器におけるこのリソース処理方法を実現できる機能モジュール及び/又は機能エンティティであってもよく、具体的には実際の使用需要に応じて決定されてもよく、本開示の実施例に対して限定しない。

【0183】

図11に示すように、このリソース処理装置は、表示モジュール501を含み、この表示モジュール501は、第二のページにターゲットリソースの受領識別子を表示することと、この受領識別子に対するトリガー操作に応答して、受領成功プロンプト情報を表示して、このターゲットリソースに基づいてこのターゲットリソースに対応するライブ配信スタジオの該当する権限を取得することとに用いられ、ここで、この第二のページは、このライブ配信スタジオのライブ配信スタジオページと、このターゲットリソースのリソース移転ページと、このライブ配信スタジオのライブ配信プレビューページと、このライブ配信スタジオをサーチするサーチページとのうちの少なくとも一つを含む。

40

【0184】

選択的に、この第二のページがこのライブ配信スタジオページ、このライブ配信プレビューページ又はこのサーチページを含む場合に、この表示モジュール501は、具体的に

50

、この第二のページにおけるこのライブ配信スタジオの試し視聴セグメントの再生が終了した場合に、この受領識別子を表示するために用いられる。

【0185】

選択的に、この表示モジュール501は、具体的に、この第二のページにおけるこのライブ配信スタジオの試し視聴セグメントの再生が終了し、且つターゲットリソース受領対象が受領条件を満たす場合に、この受領識別子を表示するために用いられ、ここで、この受領条件は、このターゲットリソース受領対象がこのライブ配信スタジオの該当する権限を取得していないことと、現在時刻がこのターゲットリソースの受領期限内であることと、このターゲットリソースの残量が0よりも大きいこととのうちの少なくとも一つを含む。

10

【0186】

本開示の実施例では、各モジュールは、上記方法の実施例によるリソース処理方法を実現することができ、且つ同じ技術的效果を達成することができ、説明の繰り返しを回避するために、ここでこれ以上説明しない。

【0187】

図12は、本開示の実施例に示されるリソース処理装置の構造ブロック図であり、このリソース処理装置は、上記電子機器であってもよく、上記電子機器におけるこのリソース処理方法を実現できる機能モジュール及び/又は機能エンティティであってもよく、具体的には実際の使用需要に応じて決定されてもよく、本開示の実施例に対して限定しない。

【0188】

図12に示すように、このリソース処理装置は、受信モジュール601と割り当てモジュール602とを含み、この受信モジュール601は、ターゲットリソース受領対象により送信されるターゲットリソース受領命令を受信するために用いられ、この割り当てモジュール602は、この受信モジュール601が受信したこのターゲットリソース受領命令に基づいて、このターゲットリソース受領対象にターゲットリソースを割り当てて、このターゲットリソース受領対象にこのターゲットリソースに基づいてこのターゲットリソースに対応するライブ配信スタジオの該当する権限を取得させるために用いられる。

20

【0189】

選択的に、この割り当てモジュール602は、具体的に、この受信モジュール601が受信したこのターゲットリソース受領命令に基づいて、受領条件を満たす場合に、このターゲットリソース受領対象にターゲットリソースを割り当てるために用いられ、ここで、この受領条件は、このターゲットリソース受領対象がこのライブ配信スタジオの該当する権限を取得していないことと、現在時刻がこのターゲットリソースの受領期限内であることと、このターゲットリソースの残量が0よりも大きいこととのうちの少なくとも一つを含む。

30

【0190】

選択的に、このリソース処理装置は、送信モジュールをさらに含み、この送信モジュールは、このターゲットリソース受領命令に基づいて、このターゲットリソース受領対象にターゲットリソースを割り当てた後に、第一の周波数制御条件を満たす場合に、ターゲットリソースシェア対象にターゲットリソースシェア成功通知メッセージを送信するために用いられ、ターゲットリソースシェア対象は、このターゲットリソース受領対象がこのターゲットリソースを受領するためにこのターゲットリソースをシェアする対象であり、第一の周波数制御条件は、現在時刻からこのターゲットリソースシェア対象にターゲットリソースシェア成功通知メッセージを最後に送信した時刻までの時間長が第一の時間長閾値以上であることと、このターゲットリソースシェア対象にターゲットリソースシェア成功通知メッセージを送信した当日累計回数が第一の回数閾値よりも小さいことと、このターゲットリソースシェア成功通知メッセージが、現在時刻までにターゲットリソースシェア成功通知メッセージを送信していないすべてのターゲットリソース受領成功情報を含むこととのうちの少なくとも一つを含む。

40

【0191】

50

選択的に、このリソース処理装置は、撤回モジュールをさらに含み、この受信モジュール601はさらに、このターゲットリソース受領対象により送信されるターゲットリソース返却命令を受信するために用いられ、この撤回モジュールは、この受信モジュール601が受信したターゲットリソース返却命令に基づいて、返却条件を満たす場合に、このターゲットリソース受領対象に割り当てられたターゲットリソースを撤回するために用いられ、ここで、この返却条件は、このターゲットリソース受領対象がこのターゲットリソースを介してこのライブ配信スタジオの該当する権限を使用していないことと、現在時刻がこのターゲットリソースの受領期限内であることとのうちの少なくとも一つを含む。

【0192】

選択的に、この送信モジュールはさらに、ターゲットリソース返却命令に基づいて、返却条件を満たす場合に、このターゲットリソース受領対象に割り当てられたターゲットリソースを撤回した後に、第二の周波数制御条件を満たす場合に、このターゲットリソースシェア対象にターゲットリソース返却成功通知メッセージを送信するために用いられ、この第二の周波数制御条件は、現在時刻からこのターゲットリソースシェア対象にターゲットリソース返却成功通知メッセージを最後に送信した時刻までの時間長が第二の時間長閾値以上であることと、このターゲットリソースシェア対象にターゲットリソース返却成功通知メッセージを送信した当日累計回数が第二の回数閾値よりも小さいことと、このターゲットリソース返却成功通知メッセージが、現在時刻までにターゲットリソース返却成功通知メッセージを送信していないすべてのターゲットリソース返却情報を含むこととのうちの少なくとも一つを含む。

【0193】

本開示の実施例では、各モジュールは、上記方法の実施例によるリソース処理方法を実現することができ、且つ同じ技術的効果を達成することができ、説明の繰り返しを回避するために、ここでこれ以上説明しない。

【0194】

本開示の実施例による技術案は、関連技術に比べて以下のような利点を有し、即ち、本開示の実施例では、ターゲットリソースのリソース移転ページを表示し、このリソース移転ページにターゲットリソースの情報及びターゲットリソースの情報に対応するライブ配信スタジオの情報が表示されており、このターゲットリソースに対するリソース移転操作に応答して、リソース移転成功情報を表示することによって、このターゲットリソースをシェアすることができ、このターゲットリソースは、ターゲットリソース受領対象がこのターゲットリソースを受領した場合にこのライブ配信スタジオの該当する権限を取得するために用いられ、このように、本方案は、ターゲットリソースをシェアする方式によって、ターゲットリソース受領対象にこのターゲットリソースを受領することによってこのライブ配信スタジオの該当する権限を取得させることができるため、ライブ配信スタジオの該当する権限の取得方式を豊富にし、ユーザ体験を高め、そしてライブ配信スタジオの該当する権限の移転量を高めることができる。

【0195】

図13は、本開示の実施例による電子機器の構造概略図であり、本開示の実施例における任意のリソース処理方法を実現する電子機器を例示的に説明するために用いられ、本開示の実施例を具体的に限定するものとして理解されるべきではない。

【0196】

図13に示すように、電子機器700は、プロセッサ(例えば中央プロセッサ、グラフィックスプロセッサなど)701を含んでもよく、それは、リードオンリーメモリ(ROM)702に記憶されるプログラム又は記憶装置708からランダムアクセスメモリ(RAM)703にロードされるプログラムに基づいて、様々な適切な動作と処理を実行することができる。RAM703には、電子機器700の操作に必要な様々なプログラムとデータがさらに記憶されている。プロセッサ701、ROM702及びRAM703は、バス704を介して互いに繋がる。入力/出力(I/O)インターフェース705もバス704に接続される。

10

20

30

40

50

【0197】

一般的には、例えばタッチスクリーン、タッチパッド、キーボード、マウス、カメラ、マイクロホン、加速度計、ジャイロなどを含む入力装置706と、例えば液晶ディスプレイ(LCD)、スピーカ、パイプレータなどを含む出力装置707と、例えば磁気テープ、ハードディスクなどを含む記憶装置708と、通信装置709とは、I/Oインターフェース705に接続されることができる。通信装置709は、データを交換するために電子機器700と他の機器とが無線又は有線通信を行うことを許容することができる。様々な装置を有する電子機器700を示しているが、理解すべきこととして、示されているすべての装置を実施すること又は備えることを要求していない。代替的に、より多くの又はより少ない装置を実施すること又は備えることができる。

10

【0198】

特に、本開示の実施例によれば、上記のフローチャートを参照して記述したプロセスは、コンピュータソフトウェアプログラムとして実現されることができる。例えば、本開示の実施例は、コンピュータプログラム製品を含み、それは、非一時的なコンピュータ可読媒体上に乗せられるコンピュータプログラムを含み、このコンピュータプログラムは、フローチャートに示す方法を実行するためのプログラムコードを含む。このような実施例では、このコンピュータプログラムは、通信装置709を介してネットワークからダウンロードされてインストールされてもよく、又は記憶装置708からインストールされてもよく、又はROM702からインストールされてもよい。このコンピュータプログラムがプロセッサ701によって実行される時に、本開示の実施例による任意のリソース処理方法に限定される機能を実行することができる。

20

【0199】

説明すべきこととして、本開示の上記のコンピュータ可読媒体は、コンピュータ可読信号媒体又はコンピュータ可読記憶媒体又は上記両方の任意の組み合わせであってもよい。コンピュータ可読記憶媒体は、例えば電気、磁気、光、電磁、赤外線、又は半導体のシステム、装置又はデバイス、又は以上の任意の組み合わせであってもよいが、それらに限らない。コンピュータ可読記憶媒体のより具体的な例は、一つ又は複数の導線を有する電氣的な接続、携帯型コンピュータディスク、ハードディスク、ランダムアクセスメモリ(RAM)、リードオンリーメモリ(ROM)、消去可能プログラマブルリードオンリーメモリ(EPROM又はフラッシュメモリ)、光ファイバ、携帯型コンパクトディスクリードオンリーメモリ(CD-ROM)、光学記憶装置、磁気記憶装置、又は上記の任意の適切な組み合わせを含んでもよいが、それらに限らない。本開示では、コンピュータ可読記憶媒体は、プログラムを含む又は記憶する任意の有形媒体であってもよく、このプログラムは、命令実行システム、装置又はデバイスによって使用され、又はそれらと組み合わせて使用されてもよい。一方、本開示では、コンピュータ可読信号媒体は、ベースバンドにおいて又はキャリアの一部として伝播されるデータ信号を含んでもよく、そこには、コンピュータ読み取り可能なプログラムコードが乗せられている。このような伝播されるデータ信号は、様々な形式を採用することができ、電磁信号、光信号又は上記の任意の適切な組み合わせを含むが、それらに限らない。コンピュータ可読信号媒体は、コンピュータ可読記憶媒体以外の任意のコンピュータ可読媒体であってもよく、このコンピュータ可読信号媒体は、命令実行システム、装置又はデバイスによって使用されるか又はそれらと組み合わせて使用されるためのプログラムを送信、伝播又は伝送することができる。コンピュータ可読媒体上に含まれるプログラムコードは、任意の適切な媒体で伝送されることができ、電線、光ケーブル、RF(無線周波数)など、又は上記の任意の適切な組み合わせを含むが、それらに限らない。

30

40

【0200】

いくつかの実施の形態では、クライアント、サービス端は、HTTP(Hypertext Transfer Protocol、ハイパーテキストトランスファープロトコル)のような、現在知られている、又は将来研究開発される任意のネットワークプロトコルを利用して通信できるとともに、任意の形式又は媒体のデジタルデータ通信

50

(例えば、通信ネットワーク)と相互接続することができる。通信ネットワークの例は、ローカルエリアネットワーク(「LAN」)、ワイドエリアネットワーク(「WAN」)、ワールドワイドウェブ(例えば、インターネット)及びエンドツーエンドネットワーク(例えば、adhocエンドツーエンドネットワーク)、及び現在知られている、又は将来研究開発される任意のネットワークを含む。

【0201】

上記コンピュータ可読媒体は、上記電子機器に含まれてもよく、この電子機器に組み立てられていない単一の存在であってもよい。

【0202】

上記コンピュータ可読媒体には、一つ又は複数のプログラムが乗せられており、上記一つ又は複数のプログラムがこの電子機器によって実行される時、この電子機器に、ターゲットリソースの情報及び前記ターゲットリソースの情報に対応するライブ配信スタジオの情報が表示されているターゲットリソースのリソース移転ページを表示することと、前記ターゲットリソースに対するリソース移転操作に応答して、リソース移転成功情報を表示して、ターゲットリソース受領対象が前記ターゲットリソースを受領した場合に前記ライブ配信スタジオの該当する権限を取得するために用いられる前記ターゲットリソースをシェアすることとを実行させる。

【0203】

又は、上記コンピュータ可読媒体には、一つ又は複数のプログラムが乗せられており、上記一つ又は複数のプログラムがこの電子機器によって実行される時、この電子機器に、第二のページにターゲットリソースの受領識別子を表示することと、この受領識別子に対するトリガー操作に応答して、受領成功プロンプト情報を表示して、このターゲットリソースに基づいてこのターゲットリソースに対応するライブ配信スタジオの該当する権限を取得することとを実行させ、ここで、この第二のページは、このライブ配信スタジオのライブ配信スタジオページと、このターゲットリソースのリソース移転ページと、このライブ配信スタジオのライブ配信プレビューページと、このライブ配信スタジオをサーチするサーチページとのうちの少なくとも一つを含む。

【0204】

又は、上記コンピュータ可読媒体には、一つ又は複数のプログラムが乗せられており、上記一つ又は複数のプログラムがこの電子機器によって実行される時、この電子機器に、ターゲットリソース受領対象により送信されるターゲットリソース受領命令を受信することと、このターゲットリソース受領命令に基づいて、このターゲットリソース受領対象にターゲットリソースを割り当て、このターゲットリソース受領対象にこのターゲットリソースに基づいてこのターゲットリソースに対応するライブ配信スタジオの該当する権限を取得させることとを実行させる。

【0205】

本開示の実施例では、一つ又は様々なプログラミング言語又はその組み合わせで本開示の操作を実行するためのコンピュータプログラムコードを作成することができ、上記プログラミング言語は、オブジェクト指向のプログラミング言語、例えばJava、Smalltalk、C++を含むが、それらに限らず、一般的な手続き型プログラミング言語、例えば「C」言語又は類似しているプログラミング言語をさらに含む。プログラムコードは、コンピュータ上で完全に実行されてもよく、部分的にコンピュータ上で実行されてもよく、一つの独立したソフトウェアパッケージとして実行され、部分的にコンピュータ上で、部分的にリモートコンピュータ上で実行され、又はリモートコンピュータ又はサービス端上で完全に実行されてもよい。リモートコンピュータに関する場合、リモートコンピュータは、ローカルエリアネットワーク(LAN)又はワイドエリアネットワーク(WAN)を含む任意の種類ネットワークを介してコンピュータに接続されてもよく、又は、外部コンピュータに接続されてもよい(例えばインターネットサービスプロバイダを利用してインターネットを介して接続される)。

【0206】

10

20

30

40

50

図面におけるフローチャートとブロック図は、本開示の様々な実施例によるシステム、方法とコンピュータプログラム製品の実現可能なシステムアーキテクチャ、機能と操作を図示した。この点では、フローチャート又はブロック図における各ブロックは、一つのモジュール、プログラムセグメント、又はコードの一部を代表してもよく、このモジュール、プログラムセグメント、又はコードの一部は、規定されるロジック機能を実現するための一つ又は複数の実行可能命令を含む。また注意すべきこととして、置き換えとしてのいくつかの実現では、ブロックに付された機能は、図面に付されたものと異なる順序で発生してもよい。例えば、二つの連続したブロックは、実際に基本的に並列に実行されてもよく、関わる機能に応じて、逆の順序で実行されてもよいことがある。さらに注意すべきこととして、ブロック図及び/又はフローチャートにおける各ブロック、及びブロック図及び/又はフローチャートにおけるブロックの組み合わせは、規定される機能又は操作を実行する、ハードウェアに基づく専用のシステムによって実現されてもよく、又は専用ハードウェアとコンピュータ命令との組み合わせによって実現されてもよい。

10

【0207】

本開示の実施例に関連して記述されたユニットは、ソフトウェアの方式で実現されてもよく、ハードウェアの方式で実現されてもよい。ここで、ユニットの名称は、ある場合にこのユニット自体を限定するものではない。

【0208】

本明細書で以上に記述された機能は、少なくとも部分的に一つ又は複数のハードウェアロジック部材によって実行されてもよい。例えば、非制限的に、使用可能な典型的なタイプのハードウェアロジック部材は、フィールドプログラマブルゲートアレイ(FPGA)、専用集積回路(ASIC)、専用標準製品(ASSP)、システムオンチップ(SOC)、複雑なプログラマブルロジックデバイス(CPLD)などを含む。

20

【0209】

本開示の文脈では、コンピュータ可読媒体は、有形の媒体であってもよく、それは、命令実行システム、装置又は機器によって使用されるか又は命令実行システム、装置又は機器と組み合わせて使用されるためのプログラムを含むか又は記憶してもよい。コンピュータ可読媒体は、コンピュータ可読信号媒体又はコンピュータ可読記憶媒体であってもよい。コンピュータ可読媒体は、電子的、磁氣的、光学的、電磁的、赤外線的、又は半導体的システム、装置又は機器、又は上記内容の任意の適切な組み合わせを含んでもよいが、それらに限らない。コンピュータ可読記憶媒体のより具体的な例は、一つ又は複数のラインに基づく電気接続、携帯型コンピュータディスク、ハードディスク、ランダムアクセスメモリ(RAM)、リードオンリーメモリ(ROM)、消去可能なプログラマブルリードオンリーメモリ(EPROM又はフラッシュメモリ)、光ファイバ、携帯型コンパクトディスクリードオンリーメモリ(CD-ROM)、光学記憶機器、磁気記憶機器、又は上記内容の任意の適切な組み合わせを含む。

30

【0210】

以上の記述は、本開示のより良い実施例及び運用される技術原理の説明にすぎない。当業者が理解すべきこととして、本開示に関わる開示範囲は、上記技術的特徴の特定の組み合わせからなる技術案に限定されないとともに、上記の開示の構想から逸脱することなく、上記技術的特徴又はその同等な特徴の任意の組み合わせからなる他の技術案もカバーすべきである。例えば、上記特徴と、本開示で開示された(それらに限らない)類似機能を有する技術的特徴とを互いに置き換えて形成される技術案である。

40

【0211】

なお、特定の手順を採用して各操作を記述しているが、これらの操作を示される特定の手順で実行するか、又は順次実行することを要求するものとして理解されるべきではない。ある環境において、マルチタスクと並列処理が有利になる場合がある。同様に、上記の論述に若干の具体的な実現詳細が含まれているが、これらは、本開示の範囲を制限するものとして理解されるべきではない。単一の実施例の文脈において記述されるいくつかの特徴は、単一の実施例において組み合わせて実現されてもよい。逆に、単一の実施例の文脈

50

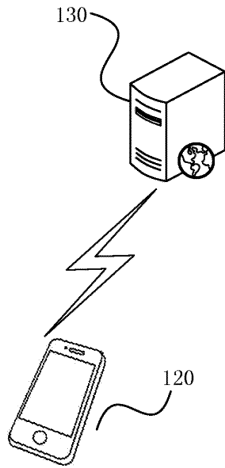
において記述される様々な特徴は、単独又は任意の適切なサブ組み合わせの方式で複数の実施例において実現されてもよい。

【0212】

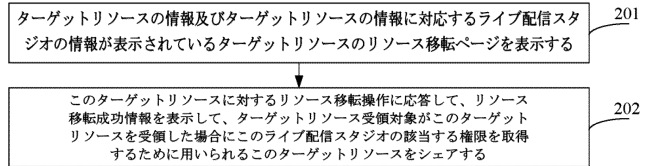
すでに構造的特徴及び/又は方法的ロジック動作に固有の言語を採用して本テーマを記述しているが、理解すべきこととして、添付される特許請求の範囲において限定されるテーマは、上記で記述された特定の特徴又は動作に必ずしも限定されるものではない。逆に、上記で記述された特定の特徴と動作は、特許請求の範囲を実現する例示的な形式にすぎない。

【図面】

【図1】



【図2】



10

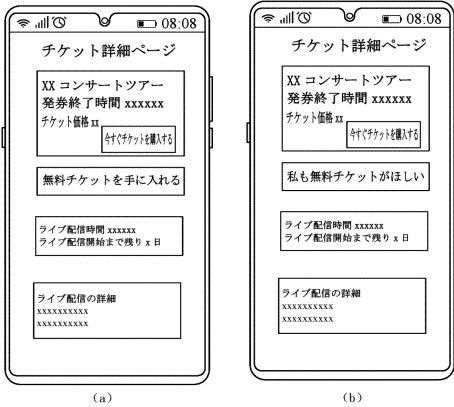
20

30

40

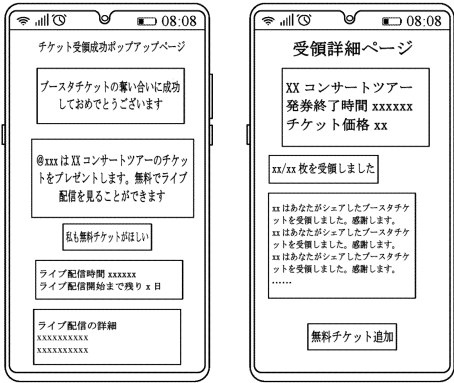
50

【 図 3 】



(a)

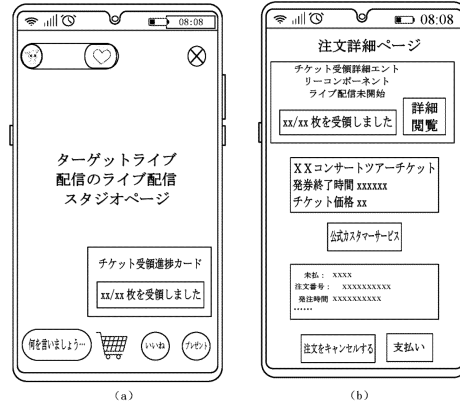
(b)



(c)

(d)

【 図 4 】



(a)

(b)



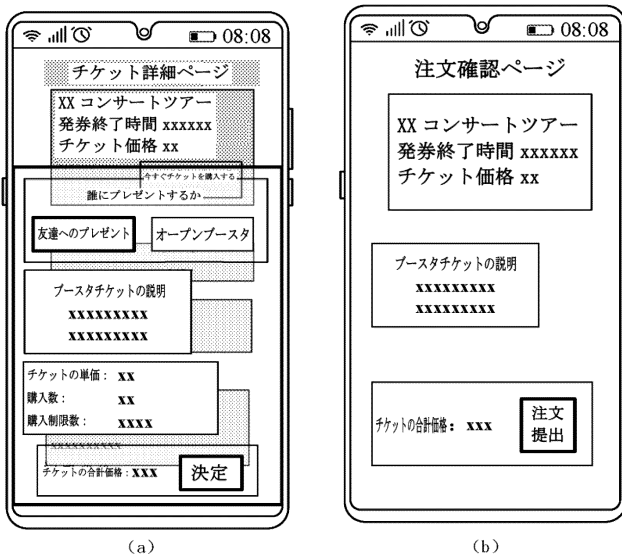
(c)

(d)

10

20

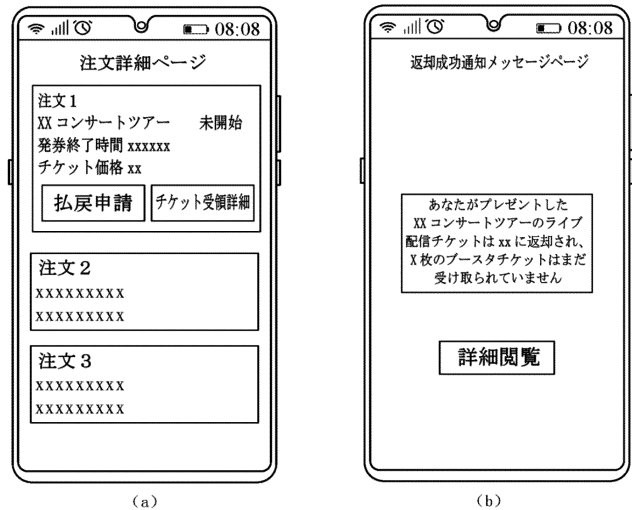
【 図 5 】



(a)

(b)

【 図 6 】



(a)

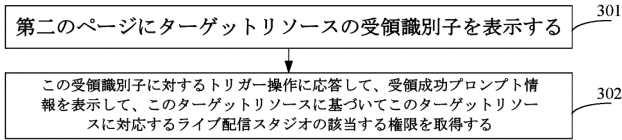
(b)

30

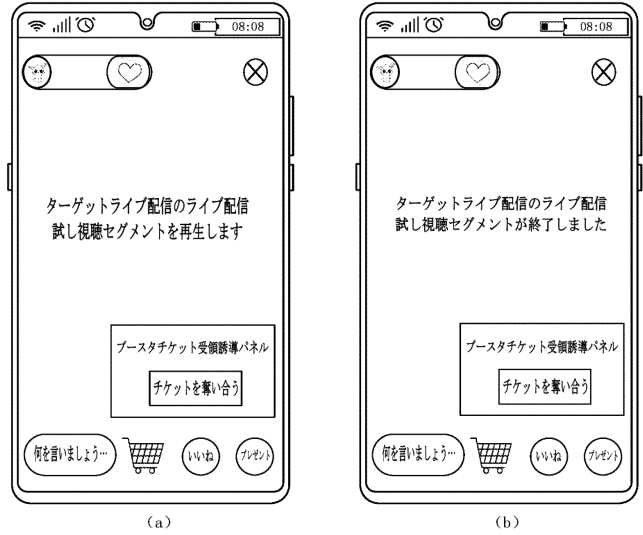
40

50

【 図 7 】

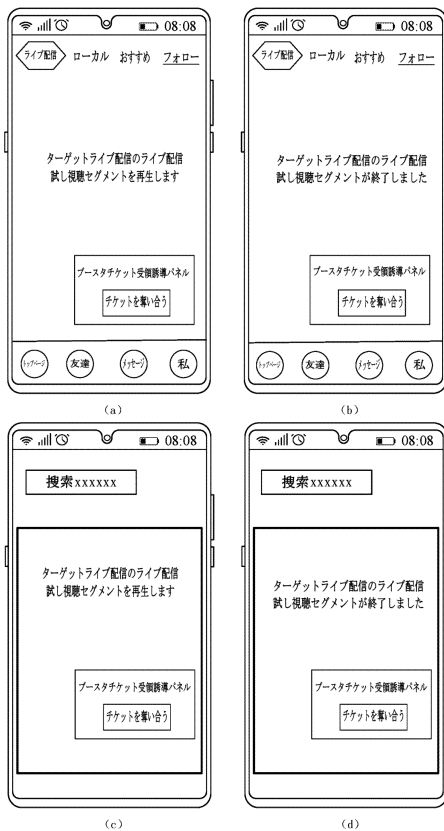


【 図 8 】

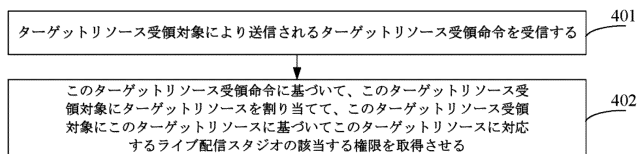


10

【 図 9 】



【 図 10 】



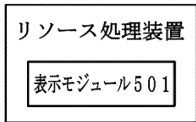
20

30

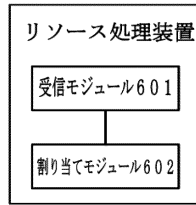
40

50

【図 1 1】

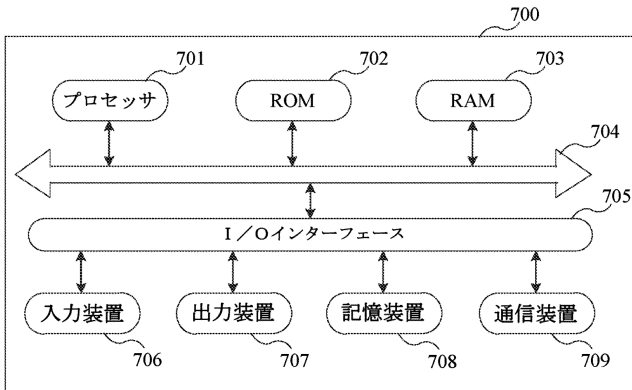


【図 1 2】



10

【図 1 3】



20

30

40

50

【 国際調査報告 】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT		International application No. PCT/CN2022/142823
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER G06F9/451(2018.01)i According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) IPC: G06F Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) CNTXT; CNABS; ENTXT; VEN; CNKI; 百度, BAIDU: 直播间, 推广, 分享, 权限, 门票, 按钮, broadcast room, promote, share, access, ticket, button		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
PX	CN 114356484 A (BEIJING BYTEDANCE NETWORK TECHNOLOGY CO., LTD.) 15 April 2022 (2022-04-15) description, paragraphs 1-222, and figures 1-13	1-17
X	CN 111918078 A (TENCENT TECHNOLOGY (SHENZHEN) CO., LTD.) 10 November 2020 (2020-11-10) description, paragraphs 74-236, and figures 1-28	1-17
X	CN 112118460 A (BEIJING DAJIA INTERNET INFORMATION TECHNOLOGY CO., LTD.) 22 December 2020 (2020-12-22) description, paragraphs 163-385, and figures 1-21	1-17
A	US 2019007717 A1 (ORANGE) 03 January 2019 (2019-01-03) entire document	1-17
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input checked="" type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "D" document cited by the applicant in the international application "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed		"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family
Date of the actual completion of the international search 09 February 2023		Date of mailing of the international search report 01 March 2023
Name and mailing address of the ISA/CN China National Intellectual Property Administration (ISA/CN) China No. 6, Xitucheng Road, Jimenqiao, Haidian District, Beijing 100088 Facsimile No. (86-10)62019451		Authorized officer Telephone No.

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (July 2022)

10

20

30

40

50

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.
PCT/CN2022/142823

Patent document cited in search report			Publication date (day/month/year)	Patent family member(s)			Publication date (day/month/year)
CN	114356484	A	15 April 2022	None			
CN	111918078	A	10 November 2020	CN	111918078	B	13 September 2022
CN	112118460	A	22 December 2020	CN	112118460	B	02 September 2022
US	2019007717	A1	03 January 2019	FR	3067549	A1	14 December 2018
				US	10893311	B2	12 January 2021
				EP	3422725	A2	02 January 2019
				EP	3422725	A3	27 March 2019

10

20

30

40

50

国际检索报告

国际申请号

PCT/CN2022/142823

A. 主题的分类		
G06F9/451(2018.01)i		
按照国际专利分类(IPC)或者同时按照国家分类和IPC两种分类		
B. 检索领域		10
检索的最低限度文献(标明分类系统和分类号)		
IPC: G06F		
包含在检索领域中的除最低限度文献以外的检索文献		
在国际检索时查阅的电子数据库(数据库的名称, 和使用的检索词(如使用))		
CNTXT;CNABS;ENTXT;VEN;CNKI;百度:直播间, 推广, 分享, 权限, 门票, 按钮, broadcast room, promote, share, access, ticket, button		
C. 相关文件		
类型*	引用文件, 必要时, 指明相关段落	相关的权利要求
PX	CN 114356484 A (北京字跳网络技术有限公司) 2022年4月15日 (2022 - 04 - 15) 说明书第1-222段, 图1-13	1-17
X	CN 111918078 A (腾讯科技(深圳)有限公司) 2020年11月10日 (2020 - 11 - 10) 说明书第74-236段, 图1-28	1-17
X	CN 112118460 A (北京达佳互联信息技术有限公司) 2020年12月22日 (2020 - 12 - 22) 说明书第163-385段, 图1-21	1-17
A	US 2019007717 A1 (ORANGE) 2019年1月3日 (2019 - 01 - 03) 全文	1-17
<input type="checkbox"/> 其余文件在C栏的续页中列出。 <input checked="" type="checkbox"/> 见同族专利附件。		
* 引用文件的具体类型: “A” 认为不特别相关的表示了现有技术一般状态的文件 “D” 申请人在国际申请中引证的文件 “E” 在国际申请日的当天或之后公布的在先申请或专利 “L” 可能对优先权要求构成怀疑的文件, 或为确定另一篇引用文件的公布日而引用的或者因其他特殊理由而引用的文件(如具体说明的) “O” 涉及口头公开、使用、展览或其他方式公开的文件 “P” 公布日先于国际申请日但迟于所要求的优先权日的文件		“T” 在申请日或优先权日之后公布, 与申请不相抵触, 但为了理解发明之理论或原理的在后文件 “X” 特别相关的文件, 单独考虑该文件, 认定要求保护的发明不是新颖的或不具有创造性 “Y” 特别相关的文件, 当该文件与另一篇或者多篇该类文件结合并且这种结合对于本领域技术人员为显而易见时, 要求保护的发明不具有创造性 “&” 同族专利的文件
国际检索实际完成的日期		国际检索报告邮寄日期
2023年2月9日		2023年3月1日
ISA/CN的名称和邮寄地址		受权官员
中国知识产权局 中国北京市海淀区蓟门桥西土城路6号 100088		董雪
传真号 (86-10)62019451		电话号码 (+86) 020-28958959

PCT/ISA/210 表(第2页)(2022年7月)

10

20

30

40

50

国际检索报告
关于同族专利的信息

国际申请号
PCT/CN2022/142823

检索报告引用的专利文件			公布日 (年/月/日)	同族专利	公布日 (年/月/日)
CN	114356484	A	2022年4月15日	无	
CN	111918078	A	2020年11月10日	CN	111918078 B 2022年9月13日
CN	112118460	A	2020年12月22日	CN	112118460 B 2022年9月2日
US	2019007717	A1	2019年1月3日	FR	3067549 A1 2018年12月14日
				US	10893311 B2 2021年1月12日
				EP	3422725 A2 2019年1月2日
				EP	3422725 A3 2019年3月27日

10

20

30

40

PCT/ISA/210 表(同族专利附件) (2022年7月)

50

フロントページの続き

,MC,ME,MK,MT,NL,NO,PL,PT,RO,RS,SE,SI,SK,SM,TR),OA(BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA,GN,GQ,GW,KM,ML,MR,NE,SN,TD,TG),AE,AG,AL,AM,AO,AT,AU,AZ,BA,BB,BG,BH,BN,BR,BW,BY,BZ,CA,CH,CL,CN,CO,CR,CU,CV,CZ,DE,DJ,DK,DM,DO,DZ,EC,EE,EG,ES,FI,GB,GD,GE,GH,GM,GT,HN,HR,HU,ID,IL,IN,IQ,IR,IS,IT,JM,JO,JP,KE,KG,KH,KN,KP,KR,KW,KZ,LA,LC,LK,LR,LS,LU,LY,MA,MD,MG,MK,MN,MW,MX,MY,MZ,NA,NG,NI,NO,NZ,OM,PA,PE,PG,PH,PL,PT,QA,RO,RS,RU,RW,SA,SC,SD,SE,SG,SK,SL,ST,SV,SY,TH,TJ,TM,TN,TR,TT,TZ,UA,UG,US,UZ,VC,VN,WS,ZA,ZM,ZW

(特許庁注：以下のものは登録商標)

1. J A V A

中国 1 0 0 0 8 6 ベイジン, ハイディエン ディストリクト, ズィチュン ロード, ナンバー・6 3, チャイナ サテライト コミュニケーションズ タワー, ジンリトウシャオ ポスト オフィス
(72)発明者 ファン, モンイン

中国 1 0 0 0 8 6 ベイジン, ハイディエン ディストリクト, ズィチュン ロード, ナンバー・6 3, チャイナ サテライト コミュニケーションズ タワー, ジンリトウシャオ ポスト オフィス

F ターム (参考) 5C164 FA06 SA25S SC11P TA08S UB92P YA11 YA16
5E555 AA26 AA76 BA03 BA05 BA06 BA38 BA46 BA87 BB03 BB05
BB06 BB38 BC08 BC09 BD06 CA02 CA12 CA15 CA18 CA42 CA44
CA47 CB02 CB12 CB20 CB21 CB64 CB73 CC01 CC03 DB03 DB20
DB41 DB53 DC05 DC09 DC13 DD07 DD08 EA11 EA14 FA00